

大学・地域共創プラットフォーム香川
令和6年度第2回運営委員会 議事次第

開催日時：令和7年3月4日（火）16:00～17:00

開催場所：香川大学法人本部（4階）大会議室

高松市幸町1-1 幸町北キャンパス内

議題

1. 令和7年度事業計画及び予算（案）について
(資料1-1、1-2、1-3、1-4、1-5)
2. その他

報告

1. 令和6年度事業の実施状況について (資料2-1、2-2)
○県内企業の多様な人材確保についての提言
(資料2-3、2-4、2-5)
2. 令和6年度大学・地域共創プラットフォーム香川
産学官共創チャレンジ支援補助金について (資料3-1、3-2)
3. 令和6年度名義使用の許諾について (資料4)
4. その他

【参考資料】

1. 大学・地域共創プラットフォーム香川総会委員名簿及び配席図
2. 大学・地域共創プラットフォーム香川規約
3. 大学・地域共創プラットフォーム香川部会設置規程
4. 地域活性化部会令和6年度先進事例勉強会報告資料

令和7年度事業計画(案)

1. 共創推進強化事業（共通）

取組	種別	内容
① 地域共創タウンミーティング	継続	大学・地域共創プラットフォーム香川の運営及び取組み等に活かすことを目的として、県内各自治体における、大学等と現地ステークホルダーとの意見交換実施
② プラットフォームの枠組みを活用した新規実証事業	継続	産学官共創チャレンジ支援補助金によるPFの枠組みを活用し、構成員が企画・提案、実証・実践する若者の県内定着や地域課題解決に資する取組み
③ 産学官金連携による新たな人材確保支援	新規	令和6年度プロジェクトチームによる「県内企業の多様な人材確保のための提言」を踏まえ、香川県における新たな中核人材確保モデル(香川版”Re-Design”ラボ)など、県内企業の人材確保支援策について、産学官金連携による実施準備

2. 高大連携・進学推進事業（進学・教育部会）

取組	種別	内容
① 出前講座・体験講座等への講師派遣	拡充	県内大学等の特色を活かした地域の教育活動の支援を通じて、県内大学等の認知度向上を図ることを目的として、小学生～高校生等を対象に、県内大学等教員がそれぞれの専門分野を活かした出前講座・体験講座の提供を強化・拡充(出前講座、香川わくわく子ども大学、探究型学習支援プロジェクト)
② 県内大学等合同進学説明会	継続	県内高校生の県内大学等への理解を深め、県内大学等進学を促進することを目的として、県内大学等合同の進学説明会を県内高校に出向き実施
③ 教員対象県内大学等合同進学説明会	拡充	高校教員の県内大学等への理解を深め、高校生の県内大学等進学を促進することを目的として、高校教員を対象とする県内大学等合同の進学説明会を拡充して開催
④ 高大連携キャリアデザイン研修	継続	高校生の保護者の県内大学等への理解を深め、県内高校生の県内大学等進学を促進することを目的として、香川県高等学校PTA連合会との連携による保護者対象の研修事業を実施(進学説明会・相談会、同団体の機関誌による広報など)

⑤ かがわキャンパスガイドの効果的な活用	拡充	高校生等の県内大学等進学を促進することを目的として、県内大学等や香川県の魅力を発信するWebサイト「かがわキャンパスガイド」を活用した情報発信 中学生に向けた広報の拡充を行い、早期からの県内大学等の認知度向上を図る
⑥ 外国人留学生対象の合同進学説明会開催	継続	県内の日本語学校等に通う外国人留学生の県内大学等への理解を深め、県内大学等への進学を促進することを目的として、外国人留学生対象の県内大学等合同進学説明会を開催

3. 大学等連携強化事業（進学・教育部会）

取組	種別	内容
① 大学間の単位互換	継続	多様かつ柔軟な学修を推進し、より充実した学びを大学生等に提供することを目的として、県内大学等の開設科目を相互履修・単位認定
② 大学等教員のFD・SD研修の実施	継続	県内大学等における授業内容や授業方法の質向上等を目的として、大学等教職員研修を共同実施
③ 国際交流会(学生)	拡充	県内大学等の外国人留学生や日本人学生の交流を通じて、地域の伝統文化に対する理解や相互理解の深化を図ることを目的として、県内大学等の留学生交流会を開催 外国人留学生の県内定着に資するよう、日本人学生の参加を促進する
④ リスクマネジメント活動	継続	県内大学等における災害等に対するリスクマネジメント体制の構築・強化を図ることを目的として、県内大学等教職員対象のリスクマネジメントに関するシンポジウム等を開催
⑤ 地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会	継続	高等教育の長期的な展望等について議論し、県内各大学等の教育改革・改善を図ることを目的として、有識者による講演などを通して、高等教育の中長期グランドデザインについて意見交換・検討を実施
⑥ 数理・データサイエンス・AI教育事業	拡充	県内高等教育機関の学生が、数理・データサイエンス・AIを習得できる教育体制の構築・普及を図ることを目的として、教育体制の構築に係る情報交換やシンポジウムの開催とともに、新たに授業科目の共同開発を実施

4. キャリア支援事業（就職・産業振興部会）

取組	種別	内容
① 「かがわーくフェア」の強化・充実	継続	県内企業の情報を発信し、県内就職に繋げることを目的として、県内企業合同企業説明会の強化・充実
② 業種別オンライン県内企業見学ツアー	継続	県内外大学等学生の県内企業に対する理解を増進させ、県内企業への就職・定着を図ることを目的として、Web会議を用いた業種別の県内企業説明会を開催
③ うどん県の自治体で働く大懇談会	継続	県内自治体や地域で働くことの動機付けとなることを目的とする、県内大学等学生と香川県内の自治体等の担当者やOB・OG職員が一堂に集まる大懇談会の開催
④ 学生と県内企業との交流会(県内大学生・短大生・高専生キャリア形成チャレンジ)	継続	県内大学等学生のキャリア意識の醸成及び県内企業の魅力発信を目的とする、県内大学等学生と県内大学等OB・OG経営者との交流会の開催
⑤ 外国人留学生等と県内企業の交流会・合同企業説明会	新規	外国人留学生と県内企業との交流を図るとともに、マッチングを通じて、県内企業の人材確保を支援することを目的として、外国人留学生等と県内企業との交流会・合同企業説明会を開催

5. 地域企業魅力発信強化事業（就職・産業振興部会）

取組名	種別	内容
① 学生による企業インタビューの実施	継続	県内高校生及び大学生が県内企業の事業内容や魅力を理解することで、香川県に残る(戻る)きっかけとすることを目的として、県内企業経営者や従業員に、企業理念や仕事のやりがいなどのインタビューを行い、「働くこと」についての意味を考える取組み
② 高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信	継続	県内産業及び県内企業・団体の魅力発信を行うことを目的として、高校、大学等のイベント等に県内産業に関するブースを出展し、県内企業や団体の情報・魅力発信
③ 地元中小企業魅力発見ツアー	拡充	モノづくりの現場を実際に見て、県内企業の魅力を知ってもらうことを目的として、県内高校生や大学生を対象とする県内中小企業の見学ツアーを実施ツアー回数を増やし、より多くの学生の参加を図る
④ 学生と県内企業による、「人材定着」をテーマとする課題解決型授業	新規	県内企業が働きやすい職場環境についての意識改革を行うとともに、学生に県内企業の魅力を知ってもらうことを目的として、学生と県内企業担当者による「人材定着」をテーマとする課題解決型授業

6. 地域活性化実践事業（地域活性化部会）

取組名	種別	内容
① 学生等による観光等地域資源の情報発信	拡充	若者目線での地域の魅力PRと学生らの地域理解促進を図ることによる人材の育成・定着、地域づくり促進を目的として、学生らが、自らの視点で観光等地域資源の体験取材を行い、SNSで発信するとともに、 <u>市町の広報へのアドバイス等を実施</u> (まんのう町)
② 産学官関係者の連携強化に向けた交流促進	継続	地域で活躍する産学官関係者や学生らがつながり、相互理解を深め、連携事業創出のための基盤づくりを進めることを目的とした産学官交流会の開催
③ 学生との連携を図る活動情報の集約・発信	継続	より多くの学生が地域と関わることにより、地域づくり・地域連携の促進を図ることを目的として、自治体等が学生との連携を図って実施する活動やイベント・行事等の情報を集約し発信
④ 若者のUJIターン促進のための意識調査	新規	人材の県内定着及びUJIターン促進に向け、県外在住の若者(県出身の大学生・社会人)を対象に、県・市町のイメージや居住地選択の要因等をインタビュー調査し、各構成員に共有するとともに、その対策の方向性を提案(県のUJIターン促進事業と連携)(坂出市)
⑤ 県内を舞台にしたフィールドワークの促進	新規	人材の県内定着・関係人口創出に向け、大学や企業等が実施する地域課題解決のフィールドワークの県内でのマッチングや受入体制整備について実証的な取組みを実施し、各市町等へ事例紹介(高松市)

(参考)

※私立大学等改革総合支援事業において、「1年単位のロードマップ」の作成が求められているところであり、下記ロードマップはその対応のために作成するものである。

2025年度事業計画（年度単位のロードマップ）案

作成： 2025年2月20日

1 高大連携事業・進学推進事業【主幹部会：進学・教育部会】

取組	内容・達成目標・指標	2025年			2026年
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
①出前講座・体験講座等への講師派遣	県内大学等の特色を生かした地域の教育活動の支援を通じて、県内大学等の認知度向上を図ることを目的とする。 ①出前講座 高校生等を対象に大学等の教職員が出前講座を実施する。出前講座等の講座名や内容を年度初めに情報公開し、活用について積極的に働きかける。 ・目標 85件	・企画、準備 ・周知 ・実施 ・アンケート調査	・実施 ・アンケート調査	・実施 ・アンケート調査	・分析、評価 ・改善等の検討
	②香川わくわく子ども大学 大学等の特色を生かした講座開設により、小学生の学びに向かう力を育成し、課題発見能力や問題解決能力を高める。 ・目標 13講座開講	・企画、準備 ・周知、募集	・実施 ・アンケート調査	・実施 ・アンケート調査	・分析、評価 ・改善等の検討
	③探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣 高校の「総合的な探究の時間」に大学等から講師を派遣して指導・助言を行う。 ・目標 2校	・企画、準備 ・周知、募集	・実施 ・アンケート調査	・実施 ・アンケート調査	・分析、評価 ・改善等の検討
②県内大学等合同進学説明会	県内高校生の県内大学等への理解を深め、県内高校生の県内大学等進学を促進することを目的として、県内大学等が高校に出向き、合同で説明会を実施する。県内大学から県内就職した卒業生をロールモデルとして招聘し、県内大学等の魅力を発信する。 ・目標 10校	・実施校募集、決定 ・実施 ・アンケート調査	・実施 ・アンケート調査	・実施 ・アンケート調査	・分析、評価 ・改善の検討 ・次年度の募集
③教員対象県内大学等合同進学説明会	県内高校教員の県内大学等への理解を深め、県内高校生の県内大学等進学を促進することを目的として、県内高校教員を対象に県内大学等が合同で説明会を実施する。県内大学等合同進学説明会やPTA総会との同日開催により実施する。 ・目標 1校	・企画、準備 ・周知、募集 ・実施	・実施	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
④高大連携キャリアデザイン研修	県内高校生の保護者の県内大学等への理解を深め、県内高校生の県内大学等進学を促進することを目的として、県高等学校PTA連合会との連携による保護者対象の研修事業を実施する。 ・大学等合同説明会 目標 1回（11月）を実施する。 ・「高P連だより」への大学等記事掲載 目標 2回（10月、2月発行）	・企画、準備	・準備	・合同説明会実施 ・機関誌発刊	・機関誌発刊 ・分析、評価 ・改善等の検討
⑤共同の広報活動	県内大学等への進学増加や若者の県内定着に繋げることを目的として、ホームページ、メディア等を活用して広報活動を積極的に行う。 広報活動を通じて、 ①オープンキャンパスの共同広告 ・日程等の公表 1回 ・プラットフォーム構成校の相互広報 ②ホームページの活用 ・目標年間 20件以上掲載 ③高校設置のパンフレットスタンドを活用 ・目標 随時実施 ④かがわキャンパスガイドの活用 ・周知用チラシ作成、配布 県内中学・高校生及び県内外高校生への情報発信 ⑤校長会等での周知、協力依頼 ・目標 3回	・企画、準備 ・オープンキャンパスの日程公表 ・その他、広報活動の実施	・実施	・実施	・実施 ・分析、評価 ・改善等の検討
⑥外国人留学生対象の合同大学進学説明会	県内の日本語学校に通う外国人留学生の県内大学等への理解を深め、県内大学等への進学促進を目的として、外国人留学生を対象とした合同進学説明会を開催する。 ・目標 3校	・企画、準備 ・周知、募集	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討	・分析、評価 ・改善等の検討

2 大学等連携強化事業【主幹部会：進学・教育部会】

取組	内容・達成目標・指標	2025年			2026年
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
①大学間の単位互換	多様かつ柔軟な学修を推進し、より充実した学びを大学生等に提供することを目的として、県内大学等の開設科目の相互履修と単位認定を実施する。 ・目標 登録者数 14人 ・新たに授業科目の共同開発を検討する。	・履修案内 ・実施 ・授業科目の共同開発	・実施 ・授業科目の共同開発	・実施 ・授業科目の共同開発	・分析・評価 ・科目調査 ・履修案内
②大学等教職員のFD・SD研修	・授業内容や授業方法の質向上、大学運営や教育活動支援の資質向上を図ることを目的として、大学等教職員研修を共同実施する。 ・地域における高等教育の中長期グランドデザイン、数理・データサイエンス・AI教育、リスクマネジメント等を研修内容とする。 ・目標 2回	・企画、準備	・実施	・実施	・実施 ・分析、評価 ・改善等の検討
③学生の国際交流会	県内大学等の外国人留学生と日本人学生の交流を通じて、地域の伝統・文化等の理解、相互理解、友好関係の深化を図ることを目的として、各大学等の外国人学生及び日本人学生間の交流の機会を学生祭などを活用して設け、交流を促進する。 ・目標 1回	・企画、準備	・企画、準備 ・募集	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
④リスクマネジメント活動	災害等に対するリスクマネジメント体制の構築を目的として、体制構築の検討及び香川大学危機管理シンポジウムに参加する。 ・目標 1回	・企画、準備	・企画、準備	・案内 ・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
⑤地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会	高等教育の長期的な展望等について議論し、各県内大学の教育改革・改善を図ることを目的として、有識者による講演などを通して、高等教育の中長期グランドデザインについて意見交換・検討を実施する。 ・目標 1回（外部講師招聘による研修会も実施）	・企画、準備	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討	・分析、評価 ・改善等の検討
⑥数理・データサイエンス・AI教育事業	県内高等教育機関の学生が、数理・データサイエンス・AIを習得できるよう教育体制の構築・普及を図り、共同授業を実施することを目的として、授業用コンテンツを作成するとともに、教育体制構築に係る情報交換やシンポジウム等を行う。 ・「授業用コンテンツ制作委員会」にてコンテンツを作成 ・令和8年度試験運用に向けての準備 ・目標 研修会1回 他県研修会の随時案内	・企画、準備 ・実施	・実施	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
⑦共同IRの実施	大学等の教育改革・教育改善に活用することを目的として、県内大学等に関する進学状況の分析、高校生・保護者・高校教員等への意識調査を実施し高大接続対策に活用する。 ・目標 1回	・企画、準備	・実施	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討

3 キャリア支援事業【主幹部会：就職・産業振興部会】

取組	内容・達成目標・指標	2025年			2026年
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
①かがわーくフェアの強化・充実	県内企業の情報を発信し、県内就職に繋げることを目的として、県内企業合同企業説明会の強化・充実を行う。（共催事業） ・目標2回（オンラインを含む）、参加者320人	・企画、準備 ・実施	・実施	・実施	・実施 ・分析、評価 ・改善等の検討
②業種別オンライン県内企業見学ツアー	県内大学等の学生の県内企業に対する理解を増進させ、県内企業への就職・定着を図ることを目的として、Web会議を用いた業種別の県内企業説明会を開催する。 ・目標3回、参加者120人	・企画、準備	・募集 ・実施	・分析、評価 ・改善等の検討	・分析、評価 ・改善等の検討
③うどん県の自治体で働こう大懇談会	県内自治体や地域で働くことの動機付けとなることを目的とする、県内大学等学生と香川県内の自治体等の担当者やOB・OG職員が一堂に集まる大懇談会を開催する。（共催事業） ・目標1回、参加者40人	・企画、準備、募集	・募集 ・実施	・分析、評価 ・改善等の検討	・分析、評価 ・改善等の検討
④学生と県内企業との交流会（県内大学生・短大生・高専生キャリア形成チャレンジ）	県内大学等学生のキャリア意識の醸成及び県内企業の魅力発信を目的とする、県内大学等学生と県内大学等OB・OG経営者との交流会を開催する。 ・目標 1回	・企画、準備	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討	・分析、評価 ・改善等の検討
⑤外国人留学生等と県内企業の交流会・合同企業説明会	外国人留学生と県内企業との交流を図るとともに、マッチングを図ることを通じて、県内企業の人材確保を支援することを目的として、外国人留学生等と県内企業との交流会・合同企業説明会を開催する。（共催事業） ・目標 1回	・企画、準備	・準備	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討

4 地域企業魅力発信強化事業【主幹部会：就職・産業振興部会】

取組	内容・達成目標・指標	2025年			2026年
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
①学生による企業インタビューシップの実施	県内高校生・大学生が県内中小企業の事業内容や魅力を理解することで香川県に残る（戻る）きっかけを目標として、高校生・大学生が企業に出向き経営者や従業員に経営理念や仕事のやりがい等をインタビューし、県内企業の理解等を深める「共育型インターンシップ」及び「インタビューシップ」を実施する。 ・目標 高校5校、大学1校	・企画、準備	・準備 ・実施	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
②高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信	県内産業及び県内企業・団体の魅力発信を行うことを目的として、高校、大学等のイベント等に県内産業に関するブースを出展し、県内企業や団体の情報・魅力発信を行う。 ・目標 大学又は高校2校	・企画、準備	・準備	・実施	・実施 ・分析、評価 ・改善等の検討
③地元中小企業魅力発見ツアー	モノづくりの現場を実際に見て、県内企業の魅力を知ってもらうことを目的として、県内高校生や大学生を対象とする県内中小企業の見学ツアーを実施する。 ・目標 2回	・企画、準備	・準備 ・実施	・準備	・実施 ・分析、評価 ・改善等の検討
④学生と県内企業による、「人材定着」をテーマとする課題解決型授業	県内企業が働きやすい職場環境についての意識改革を行うとともに、学生に県内企業の魅力を知ってもらうことを目的として、学生と県内企業担当者による「人材定着」をテーマとする課題解決型授業 ・目標 県内企業と連携した課題解決型授業の実証的な実施	・企画、準備	・企画、準備	・実施	・実施 ・分析、評価 ・改善等の検討

5 地域活性化実践事業【主幹部会：地域活性化部会】

取組	内容・達成目標・指標	2025年			2026年
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
①学生等による観光等地域資源の情報発信	若者目線での地域の魅力PRと学生らの地域理解促進を図ることによる人材の育成・定着、地域づくり促進を目的に、学生らが自らの視点で観光等地域資源の体験取材を行い、SNSで発信するとともに、市町の広報へのアドバイス等を実施（まんのう町） ・目標 情報発信2回 広報へのアドバイス1回	・キックオフ ・町の視察 ・広報のアドバイス	・取材 ・記事作成 ・情報発信	・取材 ・記事作成 ・情報発信	・分析、評価
②産学官関係者の連携強化に向けた交流促進	地域で活躍する産学官関係者や学生らがつながり、相互理解を深め、連携事業創出のための基盤づくりを進めることを目的とした産学官交流会の開催 ・目標 産学官連携交流会の開催2回	・企画、準備	・実施①	・企画、準備	・実施②
③学生との連携を図る活動情報の集約・発信	より多くの学生が地域と関わることにより、地域づくり・地域連携の促進を図ることを目的として、自治体等が学生との連携を図って実施する活動やイベント・行事等の情報を集約し発信 ・目標 情報発信5回	・周知 ・実施	・周知 ・実施	・周知 ・実施	・分析、評価
④若者のUJIターン促進のための意識調査	人材の県内定着及びUJIターン促進に向け、県外在住の若者（県出身の大学生・社会人）を対象に、県・市町のイメージや居住地選択の要因等をインタビュー調査し、各構成員に共有するとともに、その対策の方向性を提案（県のUJIターン促進事業と連携） ・目標 プラットフォーム構成員に対し、調査結果の共有及び対策の方向性の提案	・企画、検討	・調査実施	・調査結果分析	・結果共有 ・対策の方向性提案
⑤県内を舞台にしたフィールドワークの促進	人材の県内定着・関係人口創出に向け、大学や企業等が実施する地域課題解決のフィールドワークの県内での受入体制整備について実証的な取組みを実施し、各市町等へ事例紹介（高松市塩江地区） ・目標 高松市塩江での実証的な取組み実施及び各市町等への事例紹介	・企画、準備	・実証的事業の実施	・実証的事業の実施	・受入態勢の検討 ・事例紹介

令和7年度予算（案）

（単位：千円）

項目	金額	備考
【収入の部】		
前年度繰越（見込）	1,018	
会費（35機関）	8,100	県内大学等(7) 3,150 経済団体等(8) 800 市町(17) 850 香川県 3,300 (内訳：別紙のとおり)
県補助金	30,000	産学官共創チャレンジ支援補助金
収入計	39,118	

項目	金額	備考
【支出の部】		
事業費	4,518	高大連携・進学推進事業、大学等連携強化事業、キャリア支援事業、地域企業魅力発信強化事業、地域活性化実証・実践事業など
事務費	4,600	事務局・部会運営費など
事業費（県補助対象）	30,000	プラットフォームの枠組みを活用した新規実証事業（共創推進強化事業）など
支出計	39,118	

大学・地域共創プラットフォーム香川会費（案）

1. 令和7年度における会費については、プラットフォームの事務局・部会の運営に要する経費及び大学等の広報事業に要する経費等をもとに算定し、次の表に記載の額とする。
2. 香川県が負担する会費には香川県立保健医療大学の会費を含むものとする。

○県内大学等（順不同）

名称	会費
香川大学	450 千円
香川県立保健医療大学	—
四国学院大学	450 千円
徳島文理大学	450 千円
高松大学・高松短期大学	450 千円
香川短期大学	450 千円
せとうち観光専門職短期大学	450 千円
香川高等専門学校	450 千円

○経済団体等（順不同）

名称	会費
香川県商工会議所連合会	100 千円
香川県商工会連合会	100 千円
香川県中小企業団体中央会	100 千円
香川経済同友会	100 千円
香川県中小企業家同友会	100 千円
香川県農業協同組合中央会	100 千円
香川県漁業協同組合連合会	100 千円
香川県銀行協会	100 千円

○行政機関（順不同）

名称	会費
高松市	50 千円
丸亀市	50 千円
坂出市	50 千円
善通寺市	50 千円
観音寺市	50 千円
さぬき市	50 千円
東かがわ市	50 千円

三豊市	50 千円
土庄町	50 千円
小豆島町	50 千円
三木町	50 千円
直島町	50 千円
宇多津町	50 千円
綾川町	50 千円
琴平町	50 千円
多度津町	50 千円
まんのう町	50 千円
香川県	3,300 千円

香川県産学官共創チャレンジ支援補助金

(R7年度補助総額: 30,000千円) (令和7年2月県議会提案予算)

資料 1-5

令和7年3月
香川県政策部

<目的>

産学官が連携して地域課題の解決に果敢に挑戦する取組みに対し、県が「大学・地域共創プラットフォーム香川（以下「PF」）を通じて助成を行い、地域の社会経済を支える人材の育成・定着及び人材が活躍する場の形成を図る。

<制度概要>

- ・補助対象者：PF・PFの構成団体・PFが適当と認める者
※ 産学官が1者ずつ以上入る連携体制の構築が必須
- ・補助対象及び補助率：補助対象事業実施に要する経費。10分の10以内。
(一部、補助対象外経費の定めあり)

<補助対象事業>

地域の社会経済を支える人材の育成・定着及び人材が活躍する場の形成に向け、産学官が課題認識を共有し、それぞれの知見を活用して実施する、チャレンジングな事業

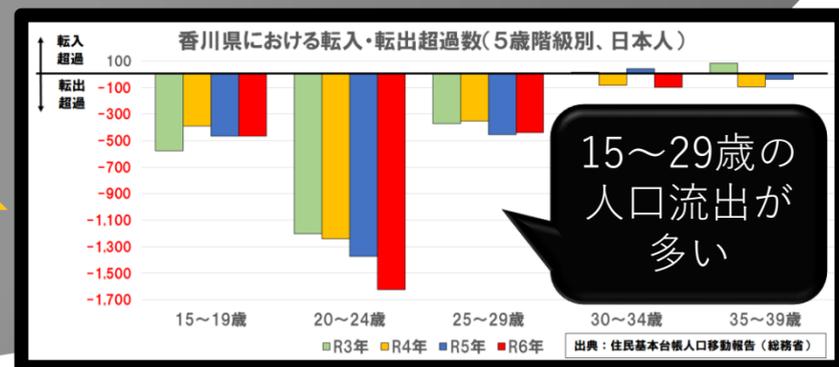
<取組みイメージ>

産学官に共通する地域課題

〈例〉若者の県外流出の状況

【地域課題の例】

- ・人手不足/人材不足
- ・防災 ・健康/福祉
- ・過疎化 ・デジタル化への対応
- ・多様な人材の活用 など



産学官それぞれの知見を活用して 新たな取組みにチャレンジ！！

小中高生や保護者に県内大学等や産業・企業への関心を持ってもらうなど、将来的に香川県に関わるきっかけをつくる取組み

地域資源を使った新商品開発や地域と学生・大学教員等が協働した地域づくりなど、地域雇用創出、地域活性化につながる取組み

県外で香川県のファンをつくる関係人口創出の取組みや関係人口の受け皿となる支援組織の立上げ等を行う取組み

県外の大学生等や若手社会人と県内企業のUターン先輩社員等をつなぐイベントの開催など、県内へのUターン就職等に目を向けてもらう取組み

県内大学等と企業・自治体等が連携して行う社会人教育など、職員のスキルアップ等により人材の活躍の場が増える取組み

デジタル人材の育成や企業・自治体のDX化推進など、効率化等による人材不足への対応の取組み



<補助金の流れ・スケジュール>

- 2月下旬：説明会・問合せ・相談の受付開始
- 4月上旬：事業計画書の受付開始(4月下旬×)
- 4月下旬：PFによる審査→PFから県へ申請
- 6月以降：県による審査・交付決定
- 交付決定後～R8.2月末：補助事業実施
- R8.3.10又は事業完了後10日以内：PFへ実績報告書の提出
- 補助対象経費確定後、順次支払い

※お問合せ先や詳細に関する募集要領等は、順次公表していきます。

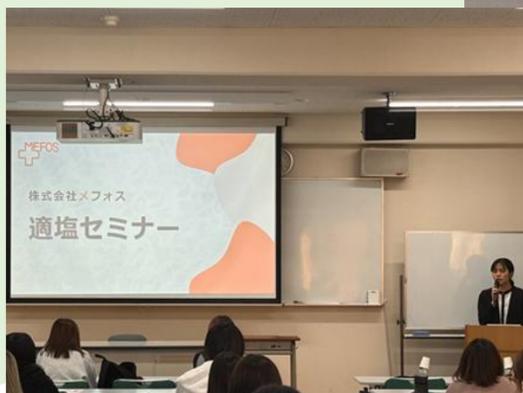
補助金を活用した取組み事例



中小企業の社員を対象とする大学のハンズオン研修(リスクリング・リカレント教育)により、県内企業のDX推進のための人材の育成を行う



VRゴーグルを使って薬剤師の活躍の現場をヴァーチャル体験し、薬剤師という職業や薬学部への進学に興味を持ってもらう



大学が考案した適塩レシピを企業にPRすることで、企業の健康経営と大学生の県内就職への意識を醸成する



高校生が県内企業の見学や経営者・若手従業員との対話を通じて、地元で働くことを考えるきっかけにする

<よくあるQ&A>

Q 補助対象事業に要件はあるの？

A 学生の地元就職を促す取組みや地元企業のデジタル技術の活用など、産学官が連携して地域の課題解決に挑戦する事業は幅広く申請いただけますが、新規事業や類似事業の少ない事業、他に補助金等がない事業など、チャレンジングな取組みを支援します。

Q 民間企業でも申請できるの？

A 民間企業でも可能ですが、PFの構成団体に加盟しているなど、一定の条件があります。なお、県外企業も、要件を満たせば補助対象事業に参画できます。

Q 大学の研究も対象になるの？

A 大学等の教員が行う研究も対象となりますが、地元企業や自治体等が、地域の課題に対する取組みとして、積極的に関わる必要があります。

Q 補助対象事業費・補助金の上限・下限はあるの？

A 補助対象事業費や補助金には上限・下限はありませんので、人材育成等につながる取組みに幅広く活用いただけます。なお、審査により認められない場合があり、交付額は県予算の範囲内で決定されます。

Q PCやタブレットなど、備品購入は補助対象となるの？

A 備品購入費は、事業の実施に必要な一定の範囲で補助対象になりますが、土地家屋や車両及び汎用性がある目的外使用が可能なものは、原則として対象外となります。

※詳細は、交付要綱・募集要領、Q & A等でお示しします。

令和6年度事業実施状況

1. 共創推進強化事業(共通)

取組	実施概要
① 地域共創タウンミーティングの開催	地域住民の方から直接、地域が抱える課題等を伺い、産学官の様々な観点から意見交換を行い、大学・地域共創プラットフォーム香川の運営及び取組みに活かすことを目的として実施 1回目はさぬき市において開催(2/7) 2回目は土庄町において開催予定(3/5)
② プラットフォームの枠組みを活用した新規実証事業	産学官共創チャレンジ支援補助金によるPFの枠組みを活用し、構成員が企画・提案、実証・実践する若者の県内定着や地域課題に資する取組みを支援(詳細は資料3-1,3-2のとおり) 【交付決定件数】17件
③ ホームページを活用した効果的な情報発信	各部会が実施する各種事業について、より効果的な情報発信が図れるよう、ホームページの改修等を実施
④ 県内企業の多様な人材確保支援	県内企業の多様な人材確保に資する取組みを提言することを目的として、中途採用・高度外国人材の活用・早期離職者対策等に関する実態調査と分析、産学官関係者による議論を通じた対策検討 また、県内企業が多様な人材確保を考えるための一助とするため、多様な人材確保等に関するシンポジウムを開催(提言内容は資料2-3のとおり) ・プロジェクト会議 全8回 招聘講師、陪席者含め延べ130名 ・特別セミナー「富山県における中核人材確保モデル～富山”Re-Design”ラボ～」(7/1) 対面27名/オンライン19名 ・県内企業の多様な人材確保支援プロジェクト中間報告会(10/21) 対面17名/オンライン25名 ・県内企業の多様な人材確保を考えるシンポジウム(2/3) 対面49名/オンライン35名

2. 高大連携・進学推進事業(進学・教育部会)

取組	実施概要
① 出前講座・体験講座等への講師派遣	・出前講座実施件数:79件(2/7現在) 県内大学等で実施する出前講座の情報を集約し、県内高校へ周知 ・香川わくわく子ども大学開設講座数:14講座 【参加者】小学生241名(親子225組) 各県内大学等がそれぞれの特色を生かして、県内小学生を対象とする講座を開設
② 県内大学等合同進学説明会開催	昨年度より実施校が1校増加し、5校(琴平高校、香川中央高校、高松中央高校、小豆島中央高校、高松東高校)で実施。延べ1261名の高校生に対し、県内大学の魅力等を発信

	また、県内高校・大学を卒業し、県内企業へ就職した OB/OG が参加し、ロールモデルとして県内大学等の魅力を PR
③ 合同大学説明会・交流会開催	高松東高校で生徒対象の合同進学説明会と同時開催。 教員 20 名が参加
④ 高大連携キャリアデザイン研修	香川県高等学校 PTA 連合会との連携により、保護者を対象とする「第 2 回県内大学・短大合同進学説明会」を開催(11/9) 【参加者】 県内高校保護者・生徒・教員 対面約 80 名、オンライン約 30 名 機関紙「高 P 連だより」に県内大学等の紹介記事を掲載(10 月、2 月)
⑤ デジタルキャンパスガイドの効果的な活用	「デジタルキャンパスガイド」の運用ルールを策定し、掲載情報を更新。 キャンパスガイド訪問者数増加及び夏休み期間中のオープンキャンパスへの誘導を目的に、県内中高生にチラシ約1万枚配布(7 月) その他、Web 広告等で情報発信中(2 月28日～3 月末を予定)
⑥ 外国人留学生対象の合同進学説明会	2 校で実施 ・穴吹ビジネスカレッジ日本語学校 参加者 23 名 ・フューチャーデザイン日本語学校 参加者 20 名

3. 大学等連携強化事業（進学・教育部会）

取 組	実施概要
① 単位互換	開設科目数 603 受講者数 5人
② 大学等教員のFD・SD研修の実施	・「2040年グランドデザインのその後～最新の政策動向とさらなる人口減少への対応～」(11/11、PF香川主催)【参加者】22名 ・危機管理シンポジウム(12/9、香川大学主催、PF香川共催) 【参加者】210名(会場74名、オンライン136名) ・数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシンポジウム(3/4開催予定、香川大学主催)
③ 国際交流会(学生)の開催	県内大学等の留学生を対象とする交流会を開催(12/17) 【参加者】県内大学等留学生 8名(中国、インドネシア、台湾、ベトナム、ネパール)
④ リスクマネジメント活動	危機管理シンポジウム(12/9、香川大学主催、PF香川共催) 参加者数 210名(会場74名、オンライン136名)
⑤ 地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会	講師(リクルート進学総研所長 小林浩氏)を招聘し、県内大学等の担当者向けの講演を実施、意見交換(11/11)
⑥ 数理・データサイエンス・AI教育事業	共通の教材作成、授業用コンテンツ制作委員会にて検討 (令和7年度試行、令和8年度実施予定)

4. キャリア支援事業（就職・産業振興部会）

取 組	実施概要
① 「かがわーくフェア」の強化・充実	<p>大学等の新卒者・既卒者及び中途採用希望の就職促進や県内企業の人材確保を支援することを目的として、「就職面接会」や「企業説明会」等を実施する「かがわーくフェア」を開催</p> <p>【参加者】 令和6年4月開催 対面延115名/オンライン延11名、企業 111 社 令和6年11月開催 オンライン 139 名、企業 83 社 令和7年3月10日開催予定</p>
② 業種別オンライン県内企業見学ツアー	<p>県内大学等の学生の県内企業に対する理解を増進させ、県内企業への就職及び県内定着を図ることを目的として、県内企業による Web 会議を用いた業種別の企業説明会を開催</p> <p>【参加者】(全てオンライン参加者) 8月 21 日(水) 39 名 8月 30 日(金) 33 名 9月 3日(火) 40 名 計112名(香川大学 44 名、四国学院大学14名、徳島文理大学13名、高松大学8名、香川短期大学27名、香川高専2名、県外学生 4名)、県内企業18社</p>
③ うどん県の自治体で働こう大懇談会	<p>県内大学等の学生を対象とする地元自治体への就職を考える懇談会を開催し、地元自治体や地域で働くことの動機付けとなることを目的として、学生と県内自治体の担当者や OB・OG 職員が一同に集まる大懇談会を開催(9/25)</p> <p>【参加者】 対面44名(香川大学44名)、県内自治体等 16 団体</p>
④ 学生・企業の就職先選定等の実態把握と対策の検討	<p>県内企業の採用活動等に関する実態調査及び学生の就職活動状況等調査の結果を踏まえ、県内大学等学生の県内定着に資する取り組み等について検討(地域活性化部会と連携)</p>
⑤ 外国人材活用セミナー&交流会	<p>外国人留学生等が香川県の魅力に触れ、県内で活躍できるよう、県内就職の支援を行うことを目的として、外国人留学生等の活用や雇用手続き等に関するセミナーや県内企業経営者・担当者と外国人留学生との交流会を開催(11/11)</p> <p>【参加者】 対面 15 名(外国人留学生)、県内企業等 15 社(28 名)</p>
⑥ 学生と県内企業との交流会(県内大学生・短大生・高専生キャリア形成チャレンジ)	<p>学生の早期のキャリア意識醸成を図るとともに、県内企業の魅力を発信することを目的として、県内大学等 OB・OG経営者と学生との交流会を開催(12/26)</p> <p>【参加者】 対面 20 名(香川大学7名、四国学院大学3名、徳島文理大学1名、香川短期大学6名、香川高専3名)、県内企業(経営者)4社</p>

5. 地域企業魅力発信強化事業（就職・産業振興部会）

取 組	実施概要
① 学生による企業インタビューシツプの実施	<p>高校生・大学生等が県内中小企業の事業内容や魅力を理解することで、香川県に残る(戻る)きっかけとすることを目的として、県内企業経営者や従業員に、企業理念や仕事のやりがいなどのインタビューを行い、「働くこと」についての意味を考える取組み</p> <p>【高校生】 5校(三木高校、高松商業高校、飯山高校、志度高校、観音寺総合高校) 279名</p> <p>【大学生】 高松大学 9名</p>
② 高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信	<p>高校生、大学生等に県内産業及び県内産業に関わる企業や団体の魅力発信を行い、県内定着に繋げることを目的として、高校・大学祭等のイベントにおいてブースを出展(①農畜水産物の魅力発信に関するもの②中小企業の魅力発信に関するもの)</p> <p>【参加者】 ①大学生 37名(香川短期大学 37名) ②高校生 112名(飯山高校 112名)、一般(大学生を含む)177名</p>
③ 地元中小企業魅力発見ツアー	<p>普段接する機会が少ない優れた技術を持つ県内中小企業等の製造現場を見学し、熱い思いを持った若手経営者や社員の考え方等に触れてもらうことで、県内企業の仕事を身近に感じてもらい、県内企業で働くことを考えるきっかけとなることを目的として、県内高校生及び県内大学生等を対象とする企業見学ツアーを開催</p> <p>【参加者】 大学生 9名(香川大学 7名、高松大学2名) 高校生3月 24日開催予定</p>

6. 地域活性化実践事業（地域活性化部会）

取 組	実施概要
① 学生等による観光等地域資源の情報発信	<p>若者目線での地域の魅力PRと学生らの地域理解促進を図ることによる人材の育成・定着、地域づくりの促進を目的として、学生らが、自らの視点で観光等地域資源を見つめ、体験取材を行い、県観光協会インスタグラムで情報発信。また、「効果的な情報発信のためのSNS講習会」を6月に開催し約40名が参加</p> <p>【大学生】 ①11/19 宇多津・琴平「2day Trip」 ②11/20 綾川「体験スポット4選」</p> <p>当月の記事の平均閲覧数:21,889に対し、上記2本:28,492</p>
② 地域活性化に係る先進事例勉強会の開催等	<p>地域活性化に係る先進事例を視察し、そのポイント等を学び、県内各地域への横展開を図ることを目的として、関係人口及び移住促進等がテーマの先進地視察を2回実施</p> <p>① 洲本市 9月17日実施 26名参加 ② 西条市 2月12日実施 24名参加</p> <p>勉強会で学んだポイントを、構成員と共有</p>

<p>③ 地域を支える人材等に関する実態把握</p>	<p>人材の県内定着の観点から、就職・産業振興部会と連携して企業の採用に係るアンケート調査結果と就活生向けのアンケート調査結果を照らし合わせることで見えて来た、大学生の就職と企業の採用意識のギャップについて、ヒアリング調査を実施。その結果を、下記④の交流会にて発表予定(3/18予定)</p>
<p>④ 産学官関係者の連携強化に向けた交流促進</p>	<p>地域で活躍する産学官の関係者や学生らがつながり、相互理解を深め、連携事業創出のための基盤づくりを進めることを目的とした、産学官連携交流会の開催</p> <p>① テーマ:社員の成長(大学等における社会人教育) 11月22日開催 参加者:46名</p> <p>② テーマ:就職と採用のギャップ 3月18日開催予定</p>
<p>⑤ 学生との連携を図る活動情報の集約・発信の仕組みづくり</p>	<p>より多くの学生が地域と関わることにより、地域づくり・地域連携の促進を図ることを目的として、自治体等が学生との連携・参画を図って実施する活動やイベント・行事等の情報を集約し発信する仕組みを構築</p> <p>2月21日時点:募集4件、参加学生約30名</p>

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和6年度の主な取組み

大学・地域共創プラットフォーム香川

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和6年度の主な取組み(共通事業)

事業名	地域共創タウンミーティング
実施主体	大学・地域共創プラットフォーム香川事務局
事業目的	地域住民の方から地域が抱える課題やその課題に対する考え方を伺い、産学官の様々な主体が意見交換を行うことにより、大学・地域共創プラットフォーム香川の今後の取組みに生かす
事業内容	<p>1 開催日等 (1)日 時:令和7年2月7日 (2)場 所:長尾公民館(さぬき市東888番地5)</p> <p>2 参加者 ・さぬき市多和地区住民4名 ・さぬき市職員3名 ・PF構成員7名</p> <p>3 開催内容等 ・結願の里多和の会で活動している方や多和地区集落支援員の方に参加していただき、地域において、ということが課題になっているかなどについて意見を述べていただいた。 ・天体望遠鏡博物館がボランティアで運営していることから、受け入れ可能人数に限りがあること、移住体験ハウスの稼働状況が25%程度と低迷していること、県内で唯一、多和地区で製造しているどぶろく販売に係る手続きの対応が困難であることなど、地域資源の活用に関する課題などが挙げられた。また、地域住民の交流が希薄となっていることから、学生と連携したイベントの開催なども今後実施したいこととしてご意見いただいた。</p>



大学・地域共創プラットフォーム香川 令和6年度の主な取組み(共通事業)

事業名	県内企業の多様な人材確保支援	
実施主体	大学・地域共創プラットフォーム香川事務局(プロジェクトチーム)	
事業目的	大学・地域共創プラットフォーム香川内にプロジェクトチームを設置して、県内企業の中途採用や高度外国人材の活用、早期離職者対策等に関する実態調査と分析を行い、単なる労働力の補填としての人材受入れではなく、長期にわたり県内企業等で活躍・定着する多様な人材確保のための具体的な対策を提言する	
事業内容	<p>1 県内企業の多様な人材確保に関する調査(8~12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員数10名以上の県内本社1,000社に行き、有効回答数269件(回収率26.9%) <p>2 プロジェクト会議(5~12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官メンバー12名 ・招聘講師、陪席者を含め延べ130名が参画 <p>3 富山県における中核人材確保モデル特別セミナー(7/1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面27名/オンライン19名 <p>4 中間報告会(10/21)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面17名/オンライン25名 <p>5 シンポジウム(2/3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面49名/オンライン35名 	
	<p><中間報告会開催></p>	<p><特別セミナー開催></p>
	<p><プロジェクト会議開催風景></p>	<p><シンポジウム開催></p>

大学・地域共創プラットフォーム香川

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和6年度の主な取組み(進学・教育部会)

事業名	出前講座・体験講座等への講師派遣	
実施主体	せとうち観光専門職短期大学(出前講座)、徳島文理大学(香川わくわく子ども大学)	
事業目的	出前講座や香川わくわく子ども大学の実施により、地域の教育活動を支援する	
事業内容	<p>1 出前講座・体験講座等への講師派遣</p> <p>①高校や中学校に大学等の教職員が出向き授業や講演を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施数:79件 ・実施後アンケート:回答数24件 講座の内容について 期待以上だった69.6% 期待通りだった30.4% <p>②小学生を対象とする「香川わくわく子ども大学」を開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数:14講座(徳島文理大学8講座、高松大学2講座、香川短期大学4講座) ・参加者数:小学生241名 ・実施後アンケート:回答数201件 (満足度:とても満足できた71.7%,満足できた27.4%) 	

大学・地域共創プラットフォーム香川

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和6年度の主な取組み(進学・教育部会)

事業名	県内大学等合同進学説明会	
実施主体	香川県	
事業目的	県内大学等への理解を深め、県内大学等への進学を促進	
事業内容	<p>1 開催日等・参加生徒数</p> <p>①琴平高校:令和6年5月11日/1~3年生 197名 保護者80名 計277名</p> <p>②香川中央高校:令和6年6月13日/2年生 274名</p> <p>③高松中央高校:令和6年6月28日/2・3年生 303名</p> <p>④小豆島中央高校:令和6年7月19日/1~3年生 174名</p> <p>⑤高松東高校:令和6年9月25日/1年生 233名</p> <p>2 開催内容等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内大学5校、短期大学3校が県内高校へ出向き県内大学の魅力を発信 ・高校生が県内大学等への進学後のイメージがつかめるよう、県内大学等に進学し、県内企業に就職した卒業生がロールモデルとして合同進学説明会に参加 ・琴平高校では、PTA総会に合わせて実施し、保護者も参加 ・高松東高校では、教職員を対象とした個別相談会も合わせて実施 	 

大学・地域共創プラットフォーム香川

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和6年度の主な取組み(進学・教育部会)

事業名	高大連携キャリアデザイン研修	
実施主体	高松大学・高松短期大学	
事業目的	県内高校生の保護者を対象とする研修会を実施し、県内大学等に対する認知度向上を図り、自県大学進学率の向上に繋げる	
事業内容	<p>1 開催日等</p> <p>(1)開催日:令和6年11月9日</p> <p>(2)場所:かがわ国際会議場</p> <p>2 参加者</p> <p>県内高校生・保護者・高校教員等</p> <p>【会場】約80名</p> <p>【オンライン】約30名</p> <p>3 開催内容等</p> <p>県高等学校PTA連合会と連携し、「第2回県内大学・短大合同進学説明会」を開催</p> <p>(1)進学講演会</p> <p>演題「これからの進路選択を考える」～お子さまの未来のために～</p> <p>講師:山本達也氏(高松高等予備校 エグゼクティブディレクター)</p> <p>(2)産業団体等から県内企業の魅力等の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「香川県ではたらく魅力」 帝国データバンク ・職種内容等紹介:2団体 6企業 <p>(3)県内大学5校・短大3校による進学説明会</p> <p>学校の特色、入試制度、奨学金制度、身につく力、将来への役立て方 など</p>	 

大学・地域共創プラットフォーム香川

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和6年度の主な取組み(進学・教育部会)

事業名	デジタルキャンパスガイドの効果的な活用
実施主体	香川県
事業目的	中学・高校教員の進路指導や生徒・保護者の進路選択にあたって役立つ情報を集約化し、県内大学等や香川県の魅力を発信するWebサイト「かがわキャンパスガイド」について、チラシを作成し、Web広告に掲載することで、県内大学等への進学を促進する。
事業内容	<p>1 実施内容</p> <p>①県内中高生にデジタルキャンパスガイドの周知チラシを配布(7月) (発送部数10,600部。県内高校43校、中学校70校等)</p> <p>②「デジタルキャンパスガイド」の運用ルールを策定し、掲載情報を更新。</p> <p>③Web広告で情報発信中 Web広告については、今年度3回、全大学等が参加し、Web広告検討のためのWGを開催し、R6年度は、保護者等、幅広い年齢層にアプローチでき、YouTubeのバンパー広告及びリスティング広告の併用で広告を実施予定。</p> <p>・広告実施期間:令和7年2月28日～3月31日(予定) ・対象地域:中四国 ・対象者:高校生、保護者、教員</p>



大学・地域共創プラットフォーム香川

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和6年度の主な取組み(就職・産業振興部会)

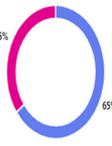
事業名	①業種別オンライン県内企業見学ツアー、②うどん県の自治体で働く大懇談会
実施主体	香川大学(キャリア支援センター)
事業目的	①県内大学等学生の県内企業に対する理解を増進させ、県内企業就職及び県内定着を図る ②県内大学等学生が県内自治体や地域で働くことの動機付けを行う
事業内容	<p>1 開催日等</p> <p>(1)日 時:①令和6年8月21日、30日、9月3日 ②令和6年9月25日</p> <p>(2)場 所:①オンライン開催 ②香川大学多目的ホール(高松市幸町1-1)</p> <p>2 参加者</p> <p>①県内大学等学生112名(香川大学44名、四国学院大学14名、徳島文理大学13名、高松大学8名、香川短期大学27名、香川高専2名、県外学生4名) ②香川大学生44名、県内自治体等16団体</p> <p>3 開催内容等</p> <p>①Web会議を用いた、県内企業による業種別の企業説明会 今年度は、新たな試みとして、対象者に県外学生を加えた</p> <p>②学生と県内自治体等の担当者やOB・OG職員が一堂に集まる大懇談会 ※①、②のいずれも令和5年度と比較して、学生の参加者が増加</p>



＜うどん県の自治体で働く大懇談会＞

大学・地域共創プラットフォーム香川

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和6年度の主な取組み(就職・産業振興部会)

事業名	学生と県内企業の交流会(県内大学生・短大生・高専生キャリア形成チャレンジ)								
実施主体	香川短期大学								
事業目的	県内大学等学生のキャリア意識の醸成及び県内企業の魅力発信								
事業内容	<p>1 開催日等 (1)日 時:令和6年12月26日 (2)場 所:情報通信交流館内「BBスクエア」(高松市サンポート2-1高松シンボルタワー棟5階)</p> <p>2 参加者 ・県内大学等学生20名(香川大学7名、四国学院大学3名、徳島文理大学1名、香川短期大学6名、香川高専3名) ・県内企業経営者4名((株)レクザム、(株)未来機械、(社)にこにこ福祉会、東海工業(株))</p> <p>3 開催内容等 ・県内大学等OB・OGの県内企業経営者と学生との交流会を開催 ・第1部では、県内企業経営者が企業理念や自分自身のキャリア選択などについてプレゼンし、第2部では学生と県内企業経営者が意見交換 ・アンケート結果からも学生のキャリア意識醸成に資する取組みであった</p> <p>8. 今回のイベントは、自分自身のキャリアを考える上で参考になりますか。(必須)</p> <p>n=17</p> <table border="1"> <tr> <td>● なる。</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>● どちらかといえばなる。</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>● どちらかといえばならない。</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>● ならない。</td> <td>0</td> </tr> </table>   	● なる。	11	● どちらかといえばなる。	6	● どちらかといえばならない。	0	● ならない。	0
● なる。	11								
● どちらかといえばなる。	6								
● どちらかといえばならない。	0								
● ならない。	0								

大学・地域共創プラットフォーム香川

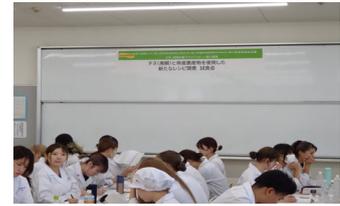
大学・地域共創プラットフォーム香川 令和6年度の主な取組み(就職・産業振興部会)

事業名	県内中小企業魅力発見ツアー
実施主体	香川大学(創造工学部)
事業目的	モノづくりの現場を実際に見て、県内大学生等に県内企業の魅力を知ってもらう
事業内容	<p>1 開催日等 (1)日 時:令和6年12月2日 (2)場 所:①伸興電線株式会社(さぬき市志度1298-12) ②株式会社タダノ志度工場(さぬき市志度5405-3)</p> <p>2 参加者 ・県内大学生9名(香川大学7名、高松大学2名)</p> <p>3 開催内容等 ・実際に、学生が県内企業の製造現場(電線、建設用クレーン車)を見学 ・工場見学後、企業の担当者と担当している業務、やりがい、学生時代のキャリア選択などを学生について紹介し、意見交換 ・3月24日には、高校生向けツアーを開催予定(香川県中小企業団体中央会企画・運営)</p>  <p><製造現場の見学></p>  <p><企業担当者との意見交換></p>

大学・地域共創プラットフォーム香川

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和6年度の主な取組み(就職・産業振興部会)

事業名	高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信
実施主体	①香川県漁業協同組合連合会、香川県農業協同組合中央会 ②香川県中小企業家同友会
事業目的	県内産業、県内企業及び県内産業に関わる団体の魅力発信
事業内容	<p>1 開催日等 (1)日 時:①8月～10月 ②9月6日(飯山高校文化祭) 11月2日、3日(高松大学・高松短期大学祭) (2)場 所:①香川短期大学(綾歌郡宇多津町浜一番丁10) ②飯山高校(丸亀市飯山町下法軍寺664-1) 高松大学・高松短期大学(高松市春日町960番地)</p> <p>2 参加者 ①香川短期大学生37名 ②飯山高校:飯山高校生112名 高松大学・高松短期大学:一般来場者177名(大学生以下81名)</p> <p>3 開催内容等 ①香川短期大学生活文化学科食物栄養専攻と連携し、漁業・農業に関する講義やチヌ(黒鯛)と県産農産物を使用した新たなレシピ開発などを通じて、学生への魅力発信を行った 令和7年度には、大学祭でのブース出展を行い、開発したレシピの活用、団体の魅力発信のための展示等により、漁業・農業及びそれに関わる団体の魅力発信を図る ②飯山高校及び高松大学・高松短期大学において、県内中小企業がブース出展し、各企業に関するワークショップなどを通じて、参加者に県内企業の事業内容や魅力を発信(アオ活!)</p>



<香川短期大学での授業>



<アオ活!高松大学・高松短期大学>

大学・地域共創プラットフォーム香川

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和6年度の主な取組み(地域活性化部会)

事業名	学生等による観光等地域資源の情報発信
実施主体	香川県
事業目的	若者目線での地域の魅力PRと学生らの地域理解促進を図ることによる人材の育成・定着、地域づくりの促進
事業内容	<p>➢ 「効果的な情報発信のためのSNS講習会」を6月に開催し、当事業に参加する大学生ら約40名が参加。SNSでの情報発信のポイントを学んだ。 ➢ 大学生が、自らの視点で観光等地域資源を見つめ、体験取材を行い、県観光協会インスタグラムで情報発信。当月の記事の平均閲覧数:21,889に対し、以下2本の平均閲覧数:28,492を記録。</p> <p>【大学生が作成した記事】</p> <p>① 11/19 宇多津・琴平「2day</p> <p>② 11/20 綾川「体験スポット4選」</p>



大学・地域共創プラットフォーム香川

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和6年度の主な取組み(地域活性化部会)

事業名	地域活性化に係る先進事例勉強会の開催等
実施主体	香川県
事業目的	地域活性化に係る先進事例を視察し、そのポイント等を学び、県内各地域への横展開を図る
事業内容	<p>➢ 関係人口・移住をテーマに、兵庫県洲本市と愛媛県西条市への視察を実施。</p> <p>➢ 視察で学んだポイント等をまとめ、プラットフォーム構成員と共有。</p> <p>① 兵庫県洲本市 実施日:令和6年9月17日 参加者:26名</p> <p>淡路島内に大学がなく、若者の流出が課題となっていることから、全国各地の大学等と連携したまちづくり(域学連携)を実践。また、学生が卒業した後も市と継続的に関係を保つことができるよう、ウェブ上のコミュニティをつくり、双方向の情報発信を行っている。学生時代に洲本市で研究を行った学生が、大学教員となり、新たな学生とともに研究を続けるなど、関係人口増加の好循環が生まれている。</p> <p>② 愛媛県西条市 実施日:令和7年2月12日 参加者:24名</p> <p>関東・関西の都市圏をターゲットとした移住施策の展開及び移住に特化したシティプロモーションを実施。積極的なメディア活用や、プロモーションと連動した移住フェアの開催等により、多くの移住者を獲得。また、LOVE SAIJOをキャッチコピーとした市内外での西条ファンづくりの活動は、高校や事業者など、市全体に広く認知されている。</p>

大学・地域共創プラットフォーム香川

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和6年度の主な取組み(地域活性化部会)

事業名	地域を支える人材等に関する実態把握
実施主体	香川県
事業目的	人材の県内定着
事業内容	<p>➢ 就職・産業振興部会と連携し、企業の採用に係るアンケート調査と就活生向けのアンケート調査結果と照らし合わせることで見えて来た、大学生の就職と企業の採用意識のギャップについて、ヒアリング調査を実施。</p> <p>➢ 調査結果を地域活性化部会事業「産学官連携交流会」にて発表(3/18予定)。</p> <p>【ヒアリング調査の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学生、企業の採用担当者、経済団体職員等15名で、大学生と企業のギャップについて深掘り。 <p>【調査結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生は「福利厚生」で重視するものの一つに入社後の継続的な研修を挙げるが、企業は十分に情報を伝えられていないケースがある。 学生の中には、初任給だけでなく、入社後の上り幅を重視する人もいるが、企業にとっては、表現しづらい情報である。 学生が思う「安定している企業」は、その企業のイメージによるところが大きい。 <p>トピック1</p> <p>学生が就活開始時/就職先決定時に重視したこと 企業が採用活動でPRすること</p> <p>① 「給料が高いこと・福利厚生が充実していること」 企業はPRできていないのではないか。その理由は？</p> <p>② 「企業の安定性」 学生が思う安定性とは？ 企業が思う安定性とは？</p> <p>③ 「やりたいことができる・やりがいがある」 学生がそう思うのどうとき？ 企業は？</p>

大学・地域共創プラットフォーム香川

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和6年度の主な取組み(地域活性化部会)

事業名	産学官関係者の連携強化に向けた交流促進
実施主体	香川県
事業目的	地域で活躍する産学官の関係者や学生らがつながり、相互理解を深め、連携事業創出のための基盤づくり
事業内容	<p>▶ 産学官連携交流会の開催。</p> <p>① テーマ:社員の成長(大学等における社会人教育) 11月22日開催 参加者:46名 大学等における社会人教育により、企業は新事業の展開等による業績向上や社員教育制度による採用力強化などにつながり、大学等においても、地域貢献により大学自体の魅力が増すことで、県内の人材定着につながるという観点から、大学等における社会人教育のメリットや各大学等の取組みを紹介し、産学官が交流をする場を創出。</p> <p>② テーマ:就職と採用のギャップ 3月18日開催予定 プラットフォームが実施した就活生と企業向けアンケートを分析した結果、両者の間にギャップが存在することがわかり、そのギャップを深掘りし明らかにすることで、県内企業の採用力向上を図る交流会を開催。</p>



県内大学等による
パネルディスカッション

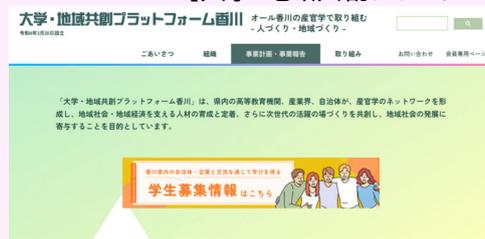


大学・地域共創プラットフォーム香川

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和6年度の主な取組み(地域活性化部会)

事業名	学生との連携を図る活動情報の集約・発信の仕組みづくり
実施主体	香川県・さぬき市
事業目的	より多くの学生が地域と関わることにより、地域づくり・地域連携の促進を図る
事業内容	<p>▶ 自治体等が学生との連携・参画を図って実施する活動やイベント・行事等の情報を集約し発信する仕組みを構築。</p> <p>▶ 大学・地域共創プラットフォーム香川HP内に特設ページを作成し、学生と連携して実施したい活動を掲載。</p> <p>▶ 2月19日時点で、4件の募集があり、合計約30名の学生が参加した。</p> <p>① さぬき市 「遊休農地を活用したまちおこしプロジェクト」</p> <p>② 多度津町 「たどつ桜たんページェント」</p> <p>③ 土庄町 「第43回瀬戸内海タートル・フルマラソン全国大会」</p> <p>④ 県教育委員会「県立高校の未来を語る会」</p>

【大学・地域共創プラットフォーム香川HP内の特設ページ】



大学・地域共創プラットフォーム香川

※資料への掲載については、四国新聞社様の許可を受けています。



県内企業の多様な人材確保について考えたシンポジウム。高松市幸町、香川大

多様な人材 どう確保

共創プラットフォーム香川 シンポで意見交換

県内企業で長期にわたり活躍する人材を生み出そうと、若者の県内定着や人材育成などに産学官が連携して取り組む枠組み「大学・地域共創プラットフォーム香川」(会長・上田夏生香川大)は3日、高松市幸町の香川大でシンポジウムを開いた。参加者は、専門的な知識・技能を持つ高度外国人材の活用や早期離職者対策について考えを巡らせた。

県や市町、大学、経済団体などが協力して地域社会の活性化を目指す組織として2022年3月に発足した。昨年5月には、県内企業が多様な人材確保を目指す「プロジェクトチーム」を設置。今春開かれるプラットフォームフォーラムの総会で具体策を提言しよう、議論を進めている。

この日は、オンラインも含めて約90人が参加した。高度外国人材の雇用を題材としたパネルディスカッションでは、同大の原直行副学長ら5人が登壇。事前に日本語教育やビジネスマナー研修を受けた留学生が参加するインターンシップの導入が提案されると、パネリストの一人は「『言わなくても分かるだろう』という日本独特の文化は外国人にはほぼ通用しない」と文化や習慣の違いを説明。大学側のサポート体制整備の重要性を強調した。

また、早期離職対策として、「学生と地元企業の若手社員がチームとなり、人材定着について提言する課題解決型授業を行うのはどうか」などの提案もあった。

大学・地域共創プラットフォーム香川

※資料への掲載については、四国新聞社様の許可を受けています。

キャリア選択のヒントに

県内の学生と県内の大学や短大、高専を卒業した県内企業の経営者との交流イベントが、高松市サンプォートのe。とぴあ・かがわBスクエアで初めて開かれた。参加した学生は生の声を聞き、県内企業への理解を深めるとともに、自身のキャリア形成について考えを巡らせた。

県や県内の自治体、大学などで構成する「大学・地域共創プラットフォーム香川」(会長・上田夏生香川大)が主催する。昨年12月26日に開かれ、県内の大学や短大、高専に通う学生20人が参加し、経営者4人が登壇した。

初めに、4人がそれぞれに経営理念や学生時代のキャリア選択などについて説明。香川大卒で未来機械(高松市)社長の三宅徹氏は在学中に起業した際のエピソードを紹介し、「何でもない学生でも、仲間をつくらせて進めることもできる」と強調。「いろいろな可能性から、自分に合うものを選んで」とアドバイスした。

県内校出身経営者 高松で学生と交流



県内の大学や短大を卒業した経営者からキャリア選択のヒントや社会人としての考え方を学ぶ学生ら。高松市サンプォート

また、高松高専でレクサム(大阪市)副社長の住田博幸氏は、入社後に特許庁が発行する公報を読んで最新技術を学んだら、不透明な母校の先生を訪ねて聞いたりして聞いたことを話し、「得意な理由を考えると、よくどうすればできるかを考えるのが仕事」と説明した。

「このほか、学生から『うまくいかない時のモチベーションの保ち方は』『経営はどう勉強したのか』といった質問も上がり、『身近な人に話す。答えがなくても自分で気付いてみる』(気持ちになる)『まず起業し、壁にぶつかってから勉強すると、何を学ばばいいかわかる。これが一番効率的』などと返答。最後に『学生のうちに好きなことや気になったことを何でもやってみて』とエールを送った。

香川高専高松3年の黒川歩未(18)は「社会人としての覚悟や心の持ちようなど、通常の企業説明会とは違う話を聞けて本当に勉強になった」と充実感をにじませた。

大学・地域共創プラットフォーム香川

食害対策にチヌ料理

香川短大生レシピ考案

ノリ養殖にとって食害魚となつたタイ、チヌの全体数を減らし、食害対策につなげる試みの一つとして、香川短期大学（加野芳正学長）の学生がチヌを食材に使ったレシピを考案。26日には宇多津町浜二番丁の同短大食物栄養棟で試食会を開き、商品化の可能性を探った。

試食会で商品化探る

県内では東讃から中讃にかけてノリ養殖が盛んで、農林水産省の海面漁業生産統計調査によると昨年度のノリ生産量は約8400トンと、全国6位だった。ただ、瀬戸内海にはノリを食べる「大学・地域共創プラットフォーム



チヌを使った料理を試食する学生＝宇多津町浜二番丁、香川短期大

「フォーム香川」が、食害対策事業として今回初めて実施。同短大食物栄養専攻1年生37人が参加した。

試食会には、学内審査を通過した甘酢あんかけやムニエル、炊き込みご飯など8点が並んだ。県漁連や県農協、県食育推進会議のメンバーら8人が試食に臨み、外観や味など4項目を5段階で評価。最も評価の高かったチヌコロッケを代表に選んだ。

チヌコロッケはジャガイモやタマネギなどの県産野菜を使い、油ではなく少量のオリーブオイルで揚げていたため、さっぱりとした食感となった。考案者の田井弥月さん（18）は「チヌは臭みも余りなく、素材として使いやすかった。今後さまざまな場面で用いられれば」と話した。

コロッケは今秋以降、県内で開かれるイベントで提供する予定。同プラットフォームや同短大のホームページなどでもレシピを紹介し、将来的には他のレシピも含め、商品化や学校給食

に採用できないかを検討していく。

審査員を務めた具水産振興協会の松本茂専務理事は「低利用魚のチヌは瀬戸内

海一円に在る。レシピが家庭に広まれば、食害対策だけでなく漁業振興にも寄与するのでは」と期待感を寄せた。

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和6年度予算執行状況報告（見込み）

（単位：円）

項目	予算額	執行状況	比較増減	内容
【収入の部】				
前年度繰越額	1,330,000	1,031,339	▲ 298,661	
会費(35機関)	8,100,000	8,100,000	0	(内訳) 県内大学等(7) 3,150千円 経済団体等(8) 800千円 市町(17) 850千円 香川県 3,300千円 ※高松大学及び高松短期大学は一法人として負担 ※香川県立保健医療大学は香川県負担分に含む
県補助金	30,000,000	30,000,000	0	産学官共創チャレンジ支援補助金（交付決定額）
預金利息	0	573	573	
収入計	39,430,000	39,131,912	▲ 298,088	

項目	予算額	執行状況	比較増減	内容
【支出の部】				
事業費	9,430,000	8,113,088	▲ 1,316,912	地域共創タウンミーティング、デジタルキャンパスガイド作成、産官学連携交流会開催費他 人件費、ホームページ更新、印刷費、通信費など
事務費				
事業費(県補助対象)	30,000,000	30,000,000	0	産学官共創チャレンジ支援補助金（17事業）
次年度繰越	0	1,018,824	1,018,824	県補助金、事業費（県補助対象）を除く
支出計	39,430,000	39,131,912	▲ 298,088	

県内企業の多様な人材確保についての提言
～地域を支える人材の育成・定着・確保を目指して～

令和 7 年 3 月

大学・地域共創プラットフォーム香川

県内企業の多様な人材確保支援プロジェクトチーム

目 次

1	背 景	1
2	目 的	1
3	プロジェクトチームの活動実績	2
4	提言概要	3
	(1) 中途採用の目指すもの	3
	(2) 高度外国人材の目指すもの	4
	(3) 早期離職者対策の目指すもの	5
5	政策提言と具体的な社会実装について	6
	(1) 中途採用の目指すもの	6
	(2) 高度外国人材の目指すもの	6
	(3) 早期離職者対策の目指すもの	7
6	謝 辞	8
7	(参考) 富山”Re-Design”ラボ	9

1 背景

人生 100 年時代のフロンティア県・香川（R5.10 月策定）によると、生産年齢人口（15～64 歳）は年々減少し、2040 年(R22)に 42 万人程度(人口比 52.1%)にまで減少すると予測されている(人口ピーク H11 年：生産年齢人口 67 万人、人口比 65.0%)。生産年齢人口が減少している中、これまで培ってきた高度な技術力を引き継ぐとともに、先端技術を活用して新たな技術開発を担う人材をはじめ、企業活動のさまざまな段階を支える人材を育成することが求められている。

令和元年の香川経済同友会調査において、県内企業の約 7 割が人材不足の状況にあり採用方法として中途採用者が最も多いことが明らかになった。また、大学・地域共創プラットフォーム香川（以下「PF」という）による「県内企業の採用活動に関する実態調査」（R6 年 3 月報告）においても新規学卒者以外の中途採用(45.6%)や外国人材の確保(16.9%)にも力を入れていることが明らかとなった。

さらに、香川労働局によれば、令和 2 年 3 月新規学卒者（大学）における就職後 3 年以内の離職率は 31.1%と高い状況であり、若者の職場への定着促進は重要な課題である。

県内企業の人材確保は労働生産性の向上や地域経済の発展、地域活力の活性化等に資する対策であり、香川の喫緊の課題の一つである。

2 目的

PF 内に県内企業の多様な人材確保支援プロジェクトチーム（以下「プロジェクトチーム」という）を設置して、県内企業の中途採用や高度外国人材の活用、早期離職者等に関する実態調査と分析を行い、単なる労働力の補填としての人材受入れではなく、長期にわたり県内企業等で活躍・定着する多様な人材確保のための具体的な対策を大学・地域共創プラットフォーム香川に対し、提言する。

3 プロジェクトチームの活動実績

プロジェクトチームは、令和6年5月に第1回プロジェクト会議を開催して以降、県内企業の中途採用や高度外国人材の活用、早期離職者等に資するアンケート調査をはじめ、外部講師を招聘して意見交換、セミナーなどを重ねてきた。

令和7年2月に「県内企業の多様な人材確保を考えるシンポジウム」を開催し、具体的な社会実装について提言した。

表1 プロジェクトチームの活動実績一覧

No.	名称	月日	実施内容
1	プロジェクト会議(第1回)	令和6年5月7日	プロジェクト会議の方針と進め方について
2	特別セミナー	令和6年7月1日	富山県における中核人材確保モデル「富山“re-Design”ラボ」 挨拶：四国経済産業局地域経済部長 熊野哲也氏 講師：(協組)全国企業振興センター理事長 田中尚人氏、 富山大学経済学部教授/地域連携推進室長 岸本壽生氏
3	プロジェクト会議(第2回)	令和6年7月1日	中途採用について
4	アンケート調査	令和6年7月29日 ～ 12月20日	県内企業の多様な人材確保に関するアンケート調査 県内企業1,000社対象 (調査実施機関：(株)東京商工リサーチ 高松支社) 【別添、県内企業の多様な人材確保に関するアンケート調査報告書 参照】
5	勉強会	令和6年8月6日	「富山“Re-Design”ラボオンライン勉強会」 講師：(協組)全国企業振興センター理事長 田中尚人氏、 富山大学経済学部教授/地域連携推進室長 岸本壽生氏
6	プロジェクト会議(第3回)	令和6年8月6日	高度外国人材について 講師：出入国在留管理庁高松出入国在留管理局長 島津真佐志氏 同 高松出入国在留管理局統括審査官 平野泰輝氏
7	プロジェクト会議(第4回)	令和6年9月5日	早期離職者対策について 講師：香川労働局職業安定課 天雲大輝氏
8	プロジェクト会議(第5回)	令和6年9月25日	県内アンケート調査「概要版」について
9	中間報告会	令和6年10月21日	プロジェクトの活動報告及び人材確保について
10	プロジェクト会議(第6回)	令和6年10月21日	「中途採用」「高度外国人材」「早期離職者対策」の各サブグループによる 提言の大枠について
11	インドネシア スマラン国立大学調査	令和6年10月27日 ～ 10月31日	高度外国人材活用活用調査 ・日本語教育プログラム3年生に「日本と香川の経済活性化と観光」講義 ・香川大学・スマラン国立大学間の交流協定(MoU)に関する協議 スマラン国立大学ハシム副学部長他 ・インドネシア側送り出し機関Shiawaseと協議及びShiawase日本語教室調査
12	プロジェクト会議(第7回)	令和6年11月22日	シンポジウムの次第(案)及び大枠(案)について
13	プロジェクト会議(第8回)	令和6年12月23日	シンポジウムの大枠の決定内容及び「中途採用」「高度外国人材」「早期離職者対策」の3セッションの政策提言と具体的社会実装について 第1部：多様な人材確保支援プロジェクト 第2部：県内企業の多様な人材確保支援 第3部：総評
14	シンポジウム	令和7年2月3日	県内企業の多様な人材確保を考えるシンポジウム 【別添、県内企業の多様な人材確保を考えるシンポジウム配布資料 参照】

4 提言概要

県内企業の中途採用、高度外国人材の活用及び早期離職者対策の目指すもの「概要」を以下のとおり取りまとめた。

(1) 中途採用の目指すもの

サブプロジェクトリーダー（中途採用部門）

香川大学経済学部教授 青木 宏之

近年の産業構造や働き方の変革の中で、政府は業種・地域・職種を超えた再就職、あるいは主体的キャリア支援などの労働行政方針を掲げ、さらに301人以上企業には中途採用率を公表させる法整備（令和3年施行）を進めた。中途採用への政策支援に関心が高まっていることがわかる。

我々の県内アンケート調査においても、中途採用の重要性を確認することができた。最近4年間の中途採用者数は新卒の2倍近くに達しており、さらに今後は中途採用へ積極的になるという企業が比較的多かった。

しかし中途採用に取り組む県内企業には、賃金上昇、労働時間、休暇などへの要求上昇へ対応することが難しく、その結果、求める人材の質が得られないというだけでなく、必要な採用者の量を確保できないという回答が多くみられた。日本全体の状況とも重なるが、県内企業も厳しい人材に直面している。

さらにアンケートを詳しく見れば、県内企業の中途採用には以下の特徴を見出すことができた。第一に、DX化や新規事業進出などの積極的理由よりもむしろ、即戦力の補充のために中途採用が行われていた。第二に、将来の幹部候補・コア人材としての期待は低かった。第三に、中途採用後のミスマッチを抱える企業では教育訓練が短期的あるいは社員任せとなっていた。我々はこれらの点に、支援のヒントがあると考え、大学が関与できる社会実装を模索した。

他県では、先進的な中途採用支援の取り組みが行われていた。それは、産官学および専門の団体がチームとなり、都心を中心とした遠隔地から高度な人材を募集し、地元企業に紹介するというものである。その特徴は、①期間決めの業務委託から始めるという段階的マッチング、②応募者は、大学教員や他の高度人材と大学において共に学び、人間関係を構築しながらミッションに取り組んでいくという伴走支援などにある。

こうした支援策は、高度人材を採用する企業側の費用対効果のリスクを軽減し、新天地での能力発揮に関する応募者の不安を軽減すると考えられる。地域企業の中途採用の可能性を広げ、地域経済の活性化に寄与することが期待される。

(2) 高度外国人材の目指すもの

プロジェクトリーダー(兼)

サブプロジェクトリーダー (高度外国人材部門)

香川大学副学長/香川大学経済学部教授 原 直行

急速に進む労働力不足により技能実習生をはじめ県内でも外国人材の活用が増えてきている。2023年12月現在における香川県の中長期在留者数は16,730人であり、在留資格別では技能実習が5,771人(中長期在留者数の33.3%)、特定技能が3,386人(同19.6%)と上位2つを占めている。一方、高度外国人材に位置づけられる「技術・人文知識・国際業務」は919人(5.3%)であり、上位2つに比べると多くはない。

我々の県内アンケート調査においても、外国人材を雇用したことがある企業は全体の34.2%であったのに対して、高度外国人材を雇用している企業は製造業、卸売業・小売業などを中心に5.9%にとどまった。

このように外国人材、特に高度外国人材の活用実績はまだ少ないが、人手不足、今後の国内市場規模の縮小、一方での外国市場の開拓の必要性を考えたとき、今後ますます高度外国人材の活用が重要になると考えられる。

だが、県内企業においていきなり高度外国人材を本採用からスタートするのは雇用主・被雇用者ともにハードルが高いだろう。そこで、日本での就職を希望する留学生の県内企業でのインターンシップができれば、互いを知ることができ、ミスマッチングやトラブルも減り、両者にとってメリットが大きいと考えられる。宮崎大学や宮崎市などがJICAと連携して実施したB-JET(Bangladesh-Japan ICT Engineers' Training Program)では、バングラディッシュのIT人材が宮崎市内のIT企業にインターンシップを行うところに特色があり、これまでに50人以上がインターンシップ後に就職している。このインターンシップは数カ月に及ぶ中長期のものであるが、このような先行事例を参考にして、香川県でも3ヶ月～6カ月の中長期の有償インターンシップができれば、県内企業、高度外国人材双方に裨益が大きいのではないかと考えられる。

また、外国人材は働くだけではない。当然、地域の中で生活する。生活・文化・宗教も異なる彼らが暮らしやすい社会が今後ますます求められる。産官学連携のもと、多文化共生の取組も重要になってくる。

(3) 早期離職者対策の目指すもの

サブプロジェクトリーダー（早期離職者対策部門）

香川大学経済学部准教授 松岡 久美

新卒採用者の早期離職（採用3年目以内での離職）は、国内において長らく改善が見られない課題であり、我々の実施した県内企業へのアンケート調査においても約3割の若者が早期に離職していた。

離職理由については、業種や企業規模による若干の比率の違いは見られるものの、職場の人間関係、仕事内容（負荷の大きさ）、給与、労働時間や休日・休暇への不満が主要な項目となっており、全国的な傾向との大きな相違は見られなかった。

早期離職は企業にとって損失であるだけでなく、離職者本人にとってもその後のキャリア形成にマイナスの影響を与えかねない。そのため、若者たちがミスマッチや不本意な理由での離職を選択せざるを得なくなることを回避し、「ここで働きたい、働き続けたい」と思えるような企業・職場へと変革をはかることが急務となる。

しかしながら、今回の調査からは、企業が職場環境や待遇の改善につながるさまざまな対策を講じているものの、それらの取り組みが必ずしも離職の防止や人材の定着に十分な効果を上げている、あるいは、効果を確認できているとは言い切れない現状も確認できた。

こうした状況を打破するためには、企業個々の努力にゆだねるだけでなく、産官学が連携し、当事者となりうる若者も交えて課題解決に取り組むことが不可欠となると考えられる。

共に課題解決に取り組む上で、大学が関与できる社会実装として、たとえば、これまでのキャリア教育から一步踏み込み、PBL（課題解決型学習）型の授業において、企業関係者と学生が意見を交わし、相互の理解を深めながら解決策を模索し、その成果を共有できるような機会を設けることも、その一助となるかも知れない。また、企業の経営者や人事担当者などに向けてリカレント教育の場を提供し、意識の変化や課題解決のきっかけをつかんでもらうことも、そのあと押しとなるだろう。

産官学の連携により関係者が共に意見を交わし学びあえる場が拡大し、県内に「働きたい、働き続けたい」と思えるような魅力的な企業が増加することは、若者の定着だけでなく多様な人材の確保・定着にも寄与するものと期待される。

5 政策提言と具体的な社会実装について

プロジェクトチームにおいて、「中途採用」、「高度外国人材」及び「早期離職者対策」に資する政策提言及び具体的な社会実装は次のとおりである。

(1) 中途採用の目指すもの

① 政策提言

- ・ 県内企業の中途採用へのニーズは大きく、とくに専門人材・コア人材の獲得を支援する必要性が高い。
- ・ 賃金水準の高い人材を他県から採用しようとするれば、企業側には費用対効果に関わるリスクがあり、転職者には能力発揮に関わる不安があるだろう。
⇒ 双方の懸念を払しょくする段階的なマッチング、転職者への伴走支援などが必要

② 具体的な社会実装

- ・ 富山”Re-Design”ラボ(※)を参考に、高度な人材の中途採用に関する支援の仕組みを模索する。
⇒ コンソーシアムの立ち上げ・効果的な運営、大学の支援体制の構築

(※) 富山”Re-Design”ラボ：巻末「参考」参照

産官学金が連携し、大都市圏の中核人材（専門性やスキル、マネジメント能力を有する人材）を富山大学の協力研究員として受入れ、未来に向け変革を進める企業とマッチングを行う。協力研究員は半年間、富山県に住みながら、富山大学のリソースを活用した特色あるリカレント教育の受講とマッチング先企業での経営課題解決の実践を行い、自身のキャリア、企業、地域それぞれの Re-Design に取り組むプログラムである。

(2) 高度外国人材の目指すもの

① 政策提言

- ・ 外国人材だからこそその活用（適材適所）を後押し
⇒ 外国人材活用に向けた企業の試みに対する支援が必要
- ・ 外国人材は働くだけではない。生活、地域定着の視点が重要
⇒ 多文化共生の取組に対する支援が必要

② 具体的な社会実装

- ・ 留学生による3ヶ月程度の県内企業でのインターンシップの導入（インターンシップ前に日本語の教育とビジネスマナーの研修を受ける。また、インターンシップ受入先企業に就職するような仕組みを構築する）
- ・ 多文化共生(※)に関する産官学連携の実践型教育プログラムの実施



労働力不足という課題重視、短期的視点よりも、well-being 重視、中長期的視点が重要

(※) 多文化共生：

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

(3) 早期離職者対策の目指すもの

① 政策提言

- ・ 香川県への人材の定着率をあげるためには、個別企業の取り組みだけでなく、大学を含む教育機関・経済界・行政が連携し、雇用者側・労働者側双方の知を結集して取り組む必要がある。
- ・ ミスマッチの抑制と人材の定着に向け、若者たちが「ここで働きたい」と思えるような魅力のある企業・職場への変革が必要となる。そのためには、経営者・人事担当者の意識改革が不可欠となる。若者自身も考えることが必要。

② 具体的な社会実装

- ・ 若者（学生）と企業関係者の共同による課題解決
⇒ 地元企業との共育型の PBL 授業(※)の実施
* 学生と若手社員がチームとなり人材定着について提言を行う
* 従来型のインターンシップとは異なる
- ・ 企業の経営者や人事担当者との意見交換の場
⇒ リカレント教育（リカレント専門講座）やセミナーの開催
* 知識のアップデート、知識の深化やベストプラクティスの共有
- ・ さまざまなプレイヤーが意見を交換できる場
⇒ 多様なメンバーで香川県での未来の働き方を考えるワークショップの開催



これらを通して、香川県での人材の定着のモデルを示す

(※) PBL 授業：

PBL は「Project Based Learning」の略で、課題解決型学習と呼ばれている。学習者自らが課題を見つけて解決していく中で、解決能力や実践能力が育まれる方法である。答えが複数ある課題に対し、自分で仮説を立て、調査、検証を繰り返して答えを見つけるまでの過程を重視する授業、学習理論である。

【謝辞】

県内企業の多様な人材確保支援プロジェクトチームは、令和6年5月から12月までの間、延べ8回のプロジェクト会議を行った。また、7月は富山県における中核人材確保モデル特別セミナー、10月は県内企業の多様な人材確保支援プロジェクト中間報告会、令和7年2月は県内企業の多様な人材確保を考えるシンポジウム等を開催した。

県内企業の多様な人材確保についての提言を得るにあたり、下記の多くの方々のご支援、ご協力をいただいたことに対し感謝申し上げます。

県内企業の多様な人材確保支援プロジェクトリーダー
香川大学副学長/香川大学経済学部教授 原 直行

- 1 協同組合全国企業振興センター 代表理事理事長 田中 尚人 様
- 2 富山大学 経済学部 教授/地域連携戦略室長 岸本 壽生 様
- 3 出入国在留管理庁高松出入国在留管理局長 島津 真佐志 様
- 4 出入国在留管理庁高松出入国在留管理局統括審査官 平野 泰輝 様
- 4 香川労働局職業安定課 天雲 大揮 様
- 5 香川大学大学院地域マネジメント研究科長 中村 正伸 様
- 6 高松商工会議所事業推進部産業・人材課主査 片桐 操 様
- 7 香川県政策部地域活力推進課主任 島倉 恒太 様

(プロジェクトメンバー)

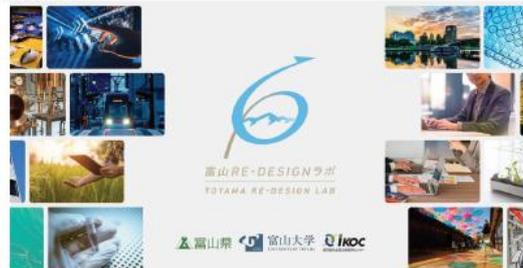
- ① 香川大学経済学部 青木 宏之 教授
- ② 香川大学経済学部 天谷 研一 教授
- ③ 香川大学経済学部 松岡 久美 准教授
- ④ 高松大学経営学部 日笠 倫周 講師
- ⑤ 香川経済同友会 國村 一郎 専務理事
- ⑥ 高松商工会議所事業推進部産業・人材課 大山 裕介 課長
- ⑦ (株)UR/ヒューマンプランニング(株) 植村 亮子 代表取締役
- ⑧ 香川県商工労働部労働政策課 岡村 武典 課長補佐
- ⑨ 香川県政策部地域活力推進課 常金 志信 課長補佐
- ⑩ 東かがわ市総務部戦略情報課 寺西 康博 主幹/官民連携マネージャー
- ⑪ 土庄町農林水産課(兼)企画財政課 笠井 雅貴 課長補佐

(プロジェクト事務局)

- ① 大学・地域共創プラットフォーム香川/地域・産官学連携戦略室 藤澤 一仁 特命教授
- ② 大学・地域共創プラットフォーム香川/地域連携推進課 長岡 元彦 課長補佐
- ③ 大学・地域共創プラットフォーム香川/地域連携推進課 児玉 隆 課員

【参考】 1. 富山“Re-Designラボ”（目的・背景）

変化の目まぐるしい現代、地域企業において、
過去にとらわれずに未来を見据え、課題を整理し経営やビジョン、解決策等を
デザインし直す(=“Re-Design”する)ことによる変革が求められている。
その中で、今回ご紹介するプログラムでは、
富山大学、富山県、地域の企業や金融機関が連携し、「働きながら学ぶ場」を創出し、
大都市圏の中核人材(専門性やスキル、マネジメント能力を有する人材)を
富山大学の協力研究員として受入れ、変革を進める地域企業とのマッチングにより
地方創生の加速を目指す。



出典：
(協報) 全国企業振興センター
富山大学

大学・地域共創プラットフォーム香川

2. 富山“Re-Designラボ”（取組イメージ）



出典：
(協報) 全国企業振興センター
富山大学

大学・地域共創プラットフォーム香川

発行/大学・地域共創プラットフォーム香川

〒760-8521 香川県高松市幸町 1-1 研究交流棟 6階

TEL. : 087-832-1356 FAX : 087-832-1357

E-mail : platform-kagawa-h@kagawa-u.ac.jp

令和7年2月3日 シンポジウム配布資料

県内企業の多様な人材確保を考えるシンポジウム ～ 地域を支える人材の育成・定着・確保 ～

本シンポジウムは、県内企業の中途採用や高度外国人材の活用、早期離職者対策に関する実態調査と分析をもとに、長期にわたり県内企業等で活躍・定着する多様な人材の確保について、具体的な対策を産官学が連携して実施するための提言・提案を行います。

主催：大学・地域共創プラットフォーム香川

後援：香川大学、香川県、香川労働局、高松商工会議所、香川経済同友会、
香川県中小企業家同友会

日時：令和7年2月3日(月) 13:30～16:00 (開場 13:00)

場所：香川大学幸町キャンパス オリーブスクエア 2F 多目的ホール
(香川県高松市幸町 1-1 幸町北キャンパス内)

※オンライン同時配信

対象：企業、行政、一般の方等どなたでも参加可能

【次第】

1 開会挨拶

- ・香川大学長/大学・地域共創プラットフォーム香川会長 上田 夏生
- ・香川県商工労働部次長 藪木 泰伸 氏

2 第1部 多様な人材確保支援プロジェクトについて

1) プロジェクトの概要 プロジェクトリーダー 原 直行

2) 県内企業アンケート調査結果と分析

- ・アンケート概要 プロジェクト事務局 藤澤 一仁
- ・中途採用について サブプロジェクトリーダー 青木 宏之
- ・高度外国人材について サブプロジェクトリーダー 原 直行
- ・早期離職者対策について サブプロジェクトリーダー 松岡 久美

3 第2部 県内企業の多様な人材確保支援について

【第1セッション】中途採用の目指すもの

ファシリテーター：香川大学経済学部教授 青木 宏之

パネラー：4名

- | | | |
|----------------------|------|------|
| ① 香川大学大学院地域マネジメント研究科 | 中村正伸 | 研究科長 |
| ② 協同組合全国企業振興センター | 田中尚人 | 理事長 |
| ③ 香川経済同友会 | 國村一郎 | 専務理事 |
| ④ 香川県政策部地域活力推進課 | 常金志信 | 課長補佐 |

【第2セッション】高度外国人材の目指すもの

ファシリテーター：香川大学副学長・経済学部教授 原 直行

パネラー：4名

- | | |
|-------------------------|------------|
| ① 高松大学経営学部 | 日笠倫周 講師 |
| ② 高松商工会議所事業推進部産業・人材課 | 大山裕介 課長 |
| ③ (株)UR /ヒューマンプランニング(株) | 植村亮子 代表取締役 |
| ④ 香川県政策部地域活力推進課 | 島倉恒太 主任 |

【第3セッション】早期離職者対策の目指すもの

ファシリテーター：サブプロジェクトリーダー/香川大学経済学部准教授 松岡 久美

パネラー：4名

- | | |
|-------------------------|------------|
| ① 香川大学経済学部 | 天谷研一 教授 |
| ② 高松商工会議所事業推進部産業・人材課 | 片桐 操 主査 |
| ③ (株)UR /ヒューマンプランニング(株) | 植村亮子 代表取締役 |
| ④ 香川県商工労働部労働政策課 | 岡村武典 課長補佐 |

4 第3部 総評

- ・高松商会議所専務理事 新池 伸司 氏
- ・香川大学理事・副学長/大学・地域共創プラットフォーム香川事務局長 国分 伸二

5 閉会挨拶

香川大学理事・副学長/大学・地域共創プラットフォーム香川事務局長 国分 伸二

第1部 多様な人材確保支援プロジェクトについて

1) プロジェクトの概要

大学・地域共創プラットフォーム香川

県内企業の多様な人材確保支援（プロジェクトチーム設置と目的）概要

【目的】

大学・地域共創プラットフォーム香川（以下「PF」という）内にプロジェクトチームを設置して、県内企業の中途採用や高度外国人材の活用、早期離職者等に関する実態調査と分析を行い、単なる労働力の補填としての人材受入れではなく、長期にわたり県内企業等で活躍・定着する多様な人材確保のための具体的な対策をPF総会にて提言・提案する。

【背景】

人生100年時代のフロンティア県・香川（R5.10月策定）によると、生産年齢人口（15～64歳）は年々減少し、2040年（R22）に42万人程度（人口比52.1%）にまで減少すると予測されている（人口ピークH11年：生産年齢人口67万人、人口比65.0%）。生産年齢人口が減少している中、これまで培ってきた高度な技術力を引き継ぐとともに、先端技術を活用して新たな技術開発を担う人材をはじめ、企業活動のさまざまな段階を支える人材を育成することが求められている。

令和元年の香川経済同友会調査において、県内企業の約7割が人材不足の状況にあり採用方法として中途採用者が最も多いことが明らかになった。また、PFによる「県内企業の採用活動に関する実態調査」（R6年3月報告）においても新規学卒者以外の中途採用や外国人材の確保にも力を入れていることが明らかとなった。

さらに、新規学卒者（大学）の、近10年間における入社3年以内の早期離職者は3人に1人と依然高い状況であり、若者の職場への定着促進は重要な課題である（R5年10月厚生労働省、R2年3月労働政策・研修機構公表）。

県内企業の人材確保は労働生産性の向上や地域経済の発展、地域活力の活性化等に資する対策であり、香川の喫緊の課題の一つである。

【狙い】

令和6年度は、本プロジェクトチームによる提言・提案である。内容は、高度外国人材をはじめ、長期にわたる県内企業等で活躍する人材確保対策はもちろん、中小企業等の事業承継や担い手対策、デジタル化などの具体的な人材確保対策である。

- 中途採用者の雇用：県外で働く人を対象に、中途採用者と企業の新たなマッチング制度等の提案 等
- 高度外国人材の雇用：インドネシアなど東南アジアや南アジアのIT人材等の新たなマッチング制度等の提案 等
- 早期離職者対策：企業の実態調査や労働政策研究・研修機構の調査等を踏まえ、モチベーションアップやメンタルヘルス対策など複合的な早期離職者対策の提案 等

大学・地域共創プラットフォーム香川

【プロジェクトチームの設置】

- PF内に、産官学連携によるプロジェクトチームを設置
- 構成メンバー
 - 産：経済団体（3名：高松商工会議所、香川経済同友会、香川県中小企業家同友会から各1名）
 - 官：香川県（2名：労働政策課、地域活力推進課から各1名）
 - 市町（2名：東かがわ市、土庄町から各1名）
 - 学：香川大学（4名：原直行副学長、経済学部 青木宏之教授・天谷研一教授・松岡久美准教授）
 - 高松大学（1名：経営学部 日笠倫周講師）
- 進め方
 - 月1回程度の打合せを開催し、下記について意見交換して取りまとめる。
 - ①県内企業実態調査項目の検討、②中途採用、高度外国人材の活用、早期離職者対策の意見交換・論点整理、③県内企業の実態調査、④先進事例調査、⑤具体的な対策の検討、⑥プロジェクトチームによる提言・提案 等
- 事業名：「県内企業の多様な人材確保支援」事業
 - 令和6年度「香川県産官学共創チャレンジ支援補助金」採択事業
 - （事業内容）①県内企業実態調査委託、②産官学共同先進地調査(国内外)、③シンポジウム開催、④提言・提案 他



【スケジュール】

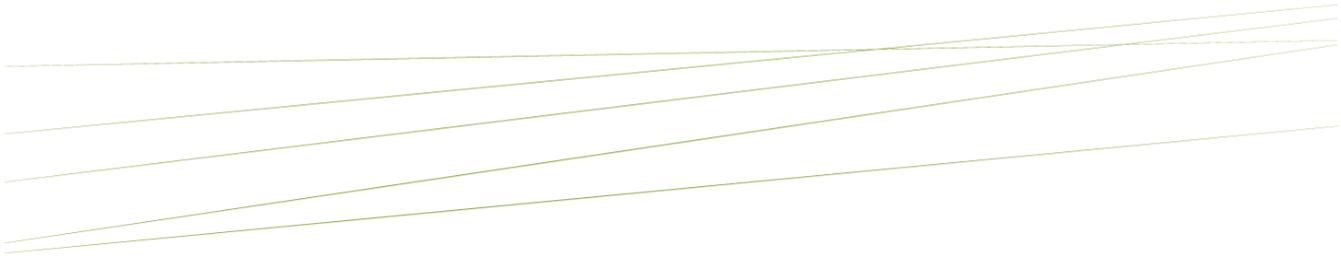
- 令和6年度：プロジェクトチーム設置～提言・提案
 - R6.5月：プロジェクトチームの結成・第1回打合せ、「産官学共創チャレンジ支援補助金」の実施計画書提出
 - R6.5月：県内企業の中途採用や高度外国人材の活用、早期離職者等に関する実態調査項目の確定
 - R6.6～8月：企業実態調査（調査会社決定、調査・分析）、都度打合せ意見交換・論点整理
 - R6.7～10月：産官学共同先進地・先進事例調査・高度外国人材派遣国調査
 - R6.10月：中間報告
 - R6.10～12月：企業実態調査の分析を元に、具体的対策の検討、提言・提案づくり
 - R7.2月：シンポジウム開催（先進県紹介＋パネラー参加、若手含めてパネル）
 - R7.1～2月：中間報告・シンポジウムを踏まえ具体的対策の検討、提言・提案づくりの更なる検討
 - R7.3月：PF総会にてプロジェクトチームから提言・提案
- 令和7年度：産官学による事業展開～効果検証
 - R7.4月～：産官学の役割分担のもと可能なものから事業展開
 - R8.2月：事業の効果検証、フィードバック 等



大学・地域共創プラットフォーム香川

2) 県内企業アンケート 調査結果と分析

大学・地域共創プラットフォーム香川



アンケート概要

大学・地域共創プラットフォーム香川

県内企業のアンケート調査概要

【調査目的】（報告書、1ページ）

県内企業における多様な人材確保支援プロジェクトを実施するために県内企業の中途採用や高度外国人材の活用、早期離職者等に関する実態の把握と分析を行う

【調査対象企業抽出基準】

本社所在地が香川県の企業（従業員数10名以上） 計1,000社

【調査の方法・期間・調査実施期間】

アンケート調査票の郵送方式

令和6年8月～9月

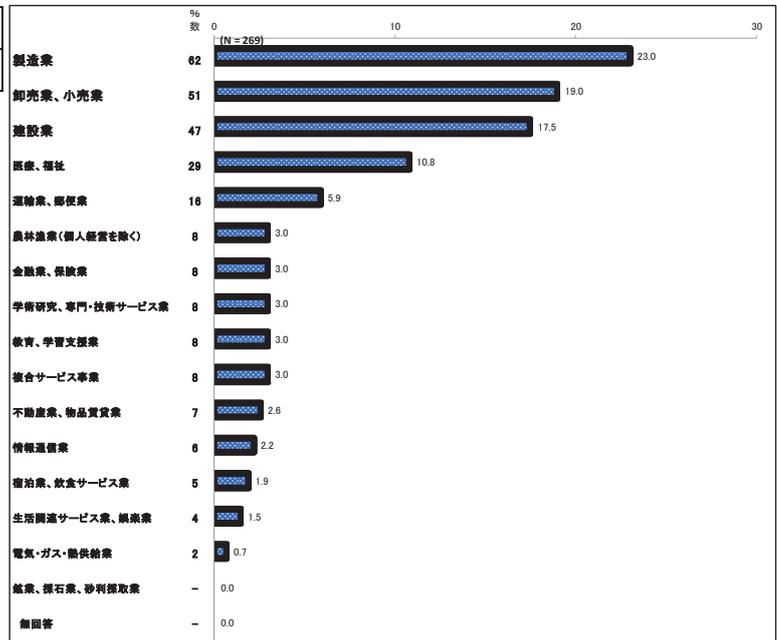
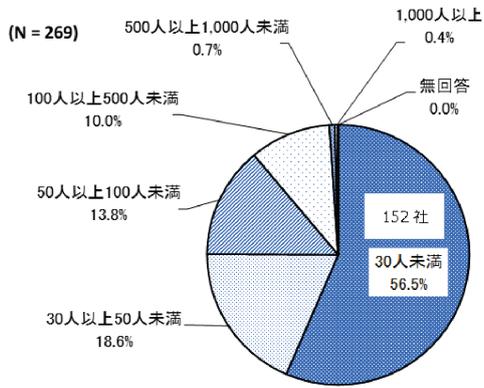
(株)東京商エリサーチ高松支社及び本社市場調査部

大学・地域共創プラットフォーム香川

県内企業のアンケート調査概要

【有効回答数・回収率】（報告書3～4ページ）

調査対象件数	有効回答数	回収率
1,000件	269件	26.9%



大学・地域共創プラットフォーム香川

県内企業のアンケート調査概要

【調査項目】全23問

大項目	中項目	小項目	大項目	中項目	小項目	
採用について	雇用実態と採用方針	1 外国人材の雇用状況と人数	中途採用	課題	5 中途採用を実施する際、煩雑に感じている業務	
		2 外国人材(すべての在留資格)採用の考え			6 今後の中途採用意向	
		3 外国人留学生の採用			7 中途採用を行う理由	
	雇用理由と課題	4 雇用している高度外国人材の職種		育成方針	8 人材育成の方針	
		5 高度外国人材を雇用しはじめた理由			採用と早期離職	1 採用及び早期離職状況
		6 高度外国人材雇用上の課題				2 早期離職する理由
	留学生採用	7 外国人留学生採用時の課題		早期離職の理由と課題	3 早期離職の防止への取組についての課題	
		8 外国人留学生を採用する目的			4 早期離職の防止策として意識して行っている取組	
中途採用	採用と早期離職	1 採用及び早期離職状況	早期離職対策と定着効果	5 若者の定着のための取組		
		2 2023年度に雇用した中途採用者の職種		6 若者の定着のために行った取組の効果		
	2023年度の採用職種と理由	3 2023年度に中途採用を実施した理由	育成方針	7 人材育成の方針		
		課題		4 中途採用活動の課題		

中途採用について

大学・地域共創プラットフォーム香川

1. 中途採用について

県内企業の多様な人材確保のために（香川大学青木）

中途採用ニーズの大きさ

- 採用者数（2020～23年）
中途2402名 > 新卒1377名
- 今後の中途採用への意向
積極42% > 消極3%

平均採用数

	中途		新卒
30人未満	1.64	<	2.59
30人以上50人未満	3.00	>	1.83
50人以上100人未満	3.73	>	2.14
100人以上500人未満	7.53	<	8.24
建設業	2.08	<	4.82
製造業	2.90	<	4.00
卸売業、小売業	2.22	<	6.13
医療、福祉	6.59	>	5.44
運輸業、郵便業	4.71	>	1.50

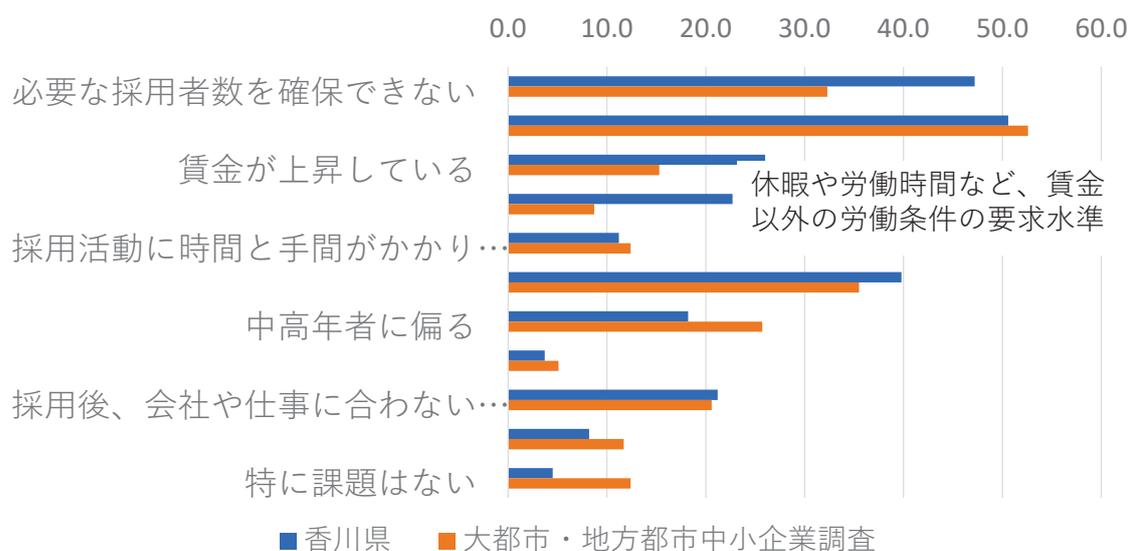
大学・地域共創プラットフォーム香川

中途採用の課題の傾向

- 必要な採用数を満たせない
- 賃金上昇への対応
- 労働時間、休暇などの要求水準の上昇
→ (ミスマッチ以前の) 採用競争の厳しさ

大学・地域共創プラットフォーム香川

中途採用の課題：全国中小企業との比較



労働政策研究・研修機構『中小企業における採用と定着』No.195

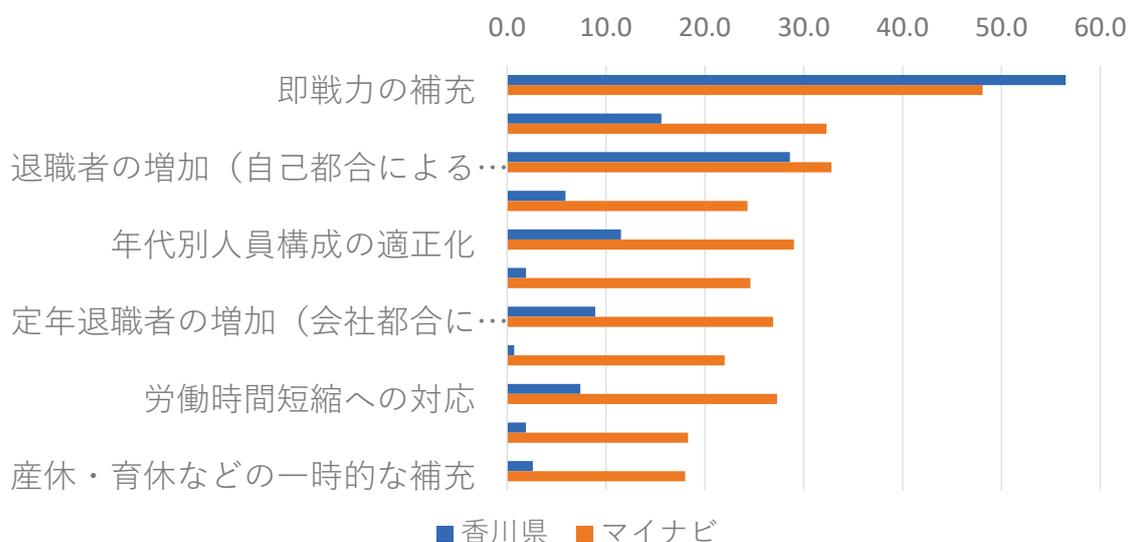
大学・地域共創プラットフォーム香川

中途採用理由の特徴

- 即戦力の補充、退職補充などが多い。
- **IT化・DX、新事業進出など、積極的理由が少ない**
 - IT化・DX（建設3社、製造1社）
 - 新事業進出（運輸・郵便1社、卸・小売1社）
- 将来の幹部候補・コア人材としての期待も低い
マッチング支援の可能性

大学・地域共創プラットフォーム香川

中途採用理由：一般動向との比較



マイナビ『中途採用実態調査2024年』

大学・地域共創プラットフォーム香川

中途採用のミスマッチ問題

- 「採用後、会社や仕事にあわないことがある」
56社

	製造業	建設	卸小売り	医療、福祉
ミスマッチ課題企業	15	11	8	5
サンプル	62	47	51	29
ミスマッチ比率	24%	23%	16%	17%

大学・地域共創プラットフォーム香川

ミスマッチ課題企業の採用目的

	即戦力の補充	将来の幹部候補・コア人材の確保	定年退職者の増加 (会社都合による欠員の増加)
ミスマッチ課題企業	42%	1%	4%
上記以外の企業	37%	5%	7%

大学・地域共創プラットフォーム香川

ミスマッチ課題企業の人材育成方針

	長期的な教育訓練等で 人材を育成	短期的に研修等で人材 を育成	特別な研修等を行わず、 社員自身に任せる。	その他
ミスマッチ課題企業	34%	46%	16%	4%
上記以外の企業	45%	42%	11%	2%

大学・地域共創プラットフォーム香川

おわりに

- 県内企業の中途採用のニーズは大きい。
- コア人材の獲得には大きな余地が残されている。
- ミスマッチを減らすための育成支援が必要である。

大学・地域共創プラットフォーム香川

高度外国人材について

大学・地域共創プラットフォーム香川

2. 高度外国人材の採用について

(1) 外国人材の雇用状況と人数（報告書、5ページ参照）

- ・「雇用したことがない」65.8%で大部分
- ・業種別では「農林漁業」「製造業」「宿泊業、飲食サービス業」「教育、学習支援業」で雇用が多い
- ・規模別では、「50-100人未満」「100-500人未満」で雇用が多い
- ・高度外国人材は16社(5.9%)で雇用65人→「製造業」6社、「卸売業・小売業」4社、「建設業」2社

(2) 外国人材（すべての在留資格）採用の考え（単一選択）（報告書、6-7ページ参照）

※雇用したことがない177社のみ回答

- ・「考えていない」が84.7%で大部分
 - ・業種別では「電気・ガス・熱供給業」「宿泊業、飲食サービス業」が1社ずつだが、「将来外国人を採用したい」50%
 - ・規模別では「100-500人未満」が「現在、外国人の採用を考えている」「将来外国人を採用したい」計26.7%と多い
- 今後、業種との関係を深掘り

大学・地域共創プラットフォーム香川

2. 高度外国人材の採用について

(3) 外国人留学生の採用（単一選択）（報告書、8-9ページ参照）

- ・「考えていない」が80.3%と大部分。既に採用、今後採用計画ありは14.5%
- ・業種別では「宿泊業、飲食サービス業」「製造業」では既に採用、今後採用計画が多い
- ・規模別では「100-500人未満」で既に採用、今後採用計画が多い

(4) 雇用している高度外国人材の職種（複数選択）（報告書、10ページ参照）

※雇用実績のある16社のみ回答

・雇用している企業（16社）での高度外国人材の職種は「研究・開発・設計関連」「IT・ソフトウェア関連」「国内・海外営業関連」「流通サービス・販売・接客関連」が18.8%（3社ずつ）

→技能、語学関連を生かした職種が多い。

- ・業種別では「製造業」6社、「卸売業・小売業」4社
- ・規模別では「30-50人未満」6社、「50-100人未満」4社、「100-500人未満」「30人未満」3社

大学・地域共創プラットフォーム香川

2. 高度外国人材の採用について

(5) 高度外国人材を雇用しはじめた理由（複数選択）（報告書、11ページ参照）

※雇用実績のある16社のみ回答

- ・「日本人だけでは人材確保が困難」62.5%、「外国人材ならではの能力が必要になった」31.3%、「能力・人物本位で雇用したら外国人だった」「海外進出・展開のため」25.0%

→日本人の代替としての雇用が一番多いが、ポジティブな雇用の要因がより重要ではないか

・業種別では「製造業」6社のうち5社が「日本人だけでは人材確保が困難」,「卸売業・小売業」4社のうち2社が「日本人だけでは人材確保が困難」,2社が「能力・人物本位で雇用したら外国人だった」

- ・規模別では「100-500人未満」3社のうち2社が「外国人材ならではの能力が必要になった」

→業種、規模と雇用理由について今後深掘り

(6) 高度外国人材雇用上の課題（複数選択）（報告書、12ページ参照）

※雇用実績のある16社のみ回答

・「言語によるコミュニケーションが十分にとれない」「働くうえで価値観の相違がある（休暇、残業、生活習慣等）」43.8%、「特にない」が25.0%

→多文化共生の考え方の浸透が今後必要ではないか

大学・地域共創プラットフォーム香川

2. 高度外国人材の採用について

(7) 外国人留学生採用時の課題（複数選択）（報告書、13ページ参照）

- ・「社内の受け入れ体制が未整備」33.8%、無回答32.3%、「優秀な人材の能力判定が難しい」26.0%
→能力判定は日本人も同じでは？

(8) 外国人留学生を採用する目的（複数選択）（報告書、14ページ参照）

※採用実績のある39社のみ回答

- ・「人手不足を解消するため」59.0%、「優秀な人材を確保するため」41.0%、「日本人への影響も含めた社内活性化のため」「無回答」23.1%

→ポジティブな採用要因がより重要ではないか

まとめ

- ・外国人材の採用実績は現状ではまだ少ない
- ・少数だが高度外国人材、外国人留学生の採用実績のある企業がある：「宿泊業、飲食サービス業」「製造業」
- ・今後は雇用においてポジティブな要因がより重要ではないか
- ・今後は多文化共生の考え方の浸透が必要ではないか

大学・地域共創プラットフォーム香川

早期離職者対策について

大学・地域共創プラットフォーム香川

3. 新卒3年以内の早期離職者対策について

【早期離職の状況】

- ▶ 調査対象となった県内の企業においても、新卒の約3割が3年以内に離職しており、全国的な傾向と大きく変わらない。
- ▶ 新卒を採用する多くの企業が早期離職を経験している。

【早期離職の理由】

- | | |
|----|--------------------------|
| 1位 | 職場の人間関係がうまくいかない (37.2%) |
| 2位 | 本人にとって仕事がきつかった (34.6%) |
| 3位 | 家庭の事情 (24.2%) |
| 4位 | 給与に不満があった(17.1%) |
| 〃 | 労働時間や休日・休暇に不満があった(17.1%) |
| 6位 | 仕事が面白くない(15.6%) |
| 〃 | 仕事のストレスが大きかった(15.6%) |
| 8位 | キャリアアップのため (11.2%) |

- ▶ **ミスマッチや不本意な理由**での離職が中心となっている。業種・規模による相違は報告書32頁参照。

大学・地域共創プラットフォーム香川

3. 新卒3年以内の早期離職者対策について

【早期離職の理由】

▶ 全国の傾向（上位項目を抜粋）：

「労働時間・休日・休暇の条件がよくなかった」（35.2%）

「人間関係がよくなかった」（28.4%）

「賃金の条件がよくなかった」（24.2%）

「仕事が自分に合わない」（23.9%）（※1年未満離職39.3%）

出典：独立行政法人 労働政策研究・研修機構（2021）『JILPT 資料シリーズ No.236 若年者のキャリアと企業による雇用管理の現状「平成30年若年者雇用実態調査」より』p.232

▶ 対象、設問の構成、調査時期の違いはあるが、上位にくる項目は、今回の調査ともおおむね一致。

大学・地域共創プラットフォーム香川

3. 新卒3年以内の早期離職者対策について

早期離職の防止への取り組み

- 社内コミュニケーションの活性化（48.3%）
- 職場環境の向上（44.6%）
- 待遇改善（38.3%）
- 福利厚生の実施（33.5%）
- 教育・研修制度の強化（22.7%）

若者定着のための取り組み

- 休日をとりやすいようにする（41.6%）
- 賃金水準を引き上げる（36.1%）
- 残業を削減する（32.0%）
- 若者が職場で話しやすい雰囲気を作る（30.9%）
- セクハラ・パワハラのない職場をつくる（29.4%）

- ▶ コミュニケーションや職場環境、労働条件、待遇改善など、早期離職の理由となる内容にある程度整合した取り組みが実施されている。
- ▶ これらの取り組みは、新卒の離職防止・定着以外にも効果が期待できる反面、コストも伴う。

大学・地域共創プラットフォーム香川

3. 新卒3年以内の早期離職者対策について

早期離職防止への取り組み課題

- 特に課題はない (26.4%)
- **効果が分かりにくい(24.2%)**
- 人的リソースの不足 (22.7%)
- 若手社員のニーズが分からない (18.2%)
- 制度の新設・改正に関するノウハウがない (9.3%)

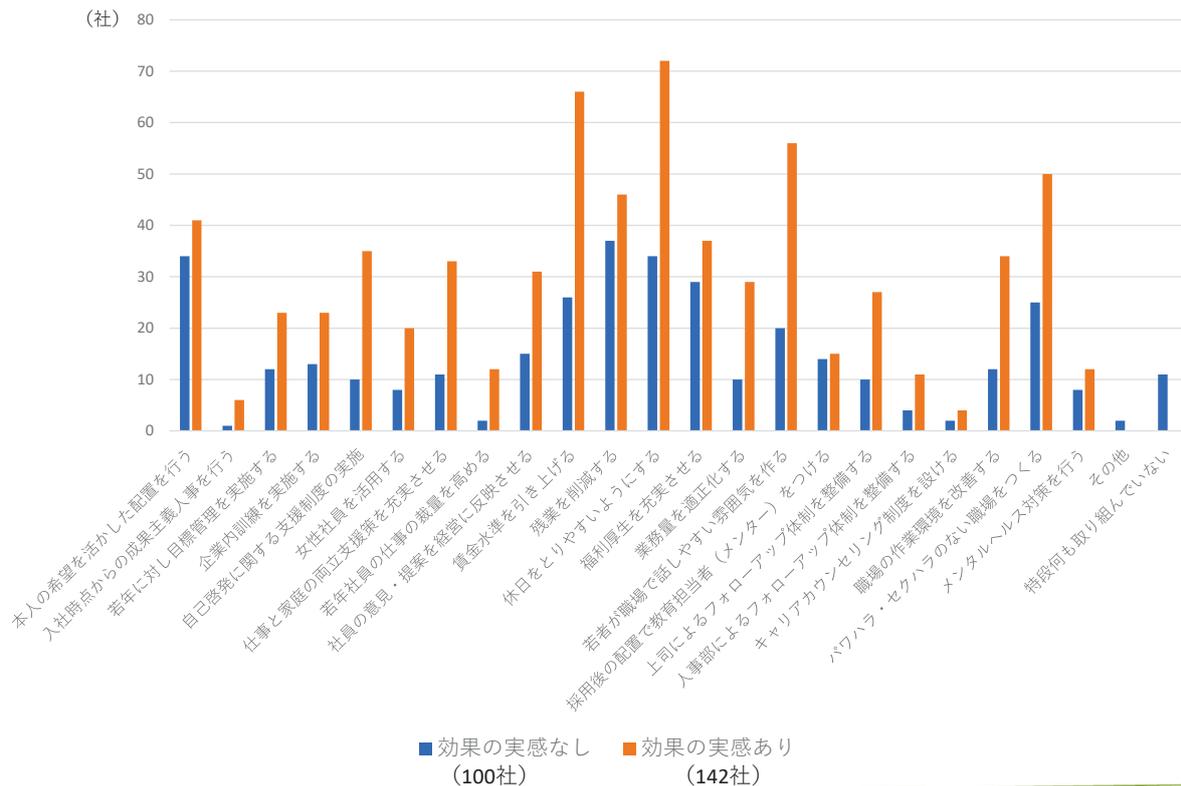
若者定着のための取り組みの効果

- **特に効果は感じていない (37.2%)**
- 離職率が低下した(26.4%)
- 社員個々がより適性に応じた職務に従事するようになった (14.9%)
- 社員のモチベーションが上がった (12.8%)
- 優秀な人材が確保できるようになった (4.5%)

➤ 取り組みが功を奏している企業がある一方で、**取り組みに対する効果をつかみにくい**と感じる企業も多い。

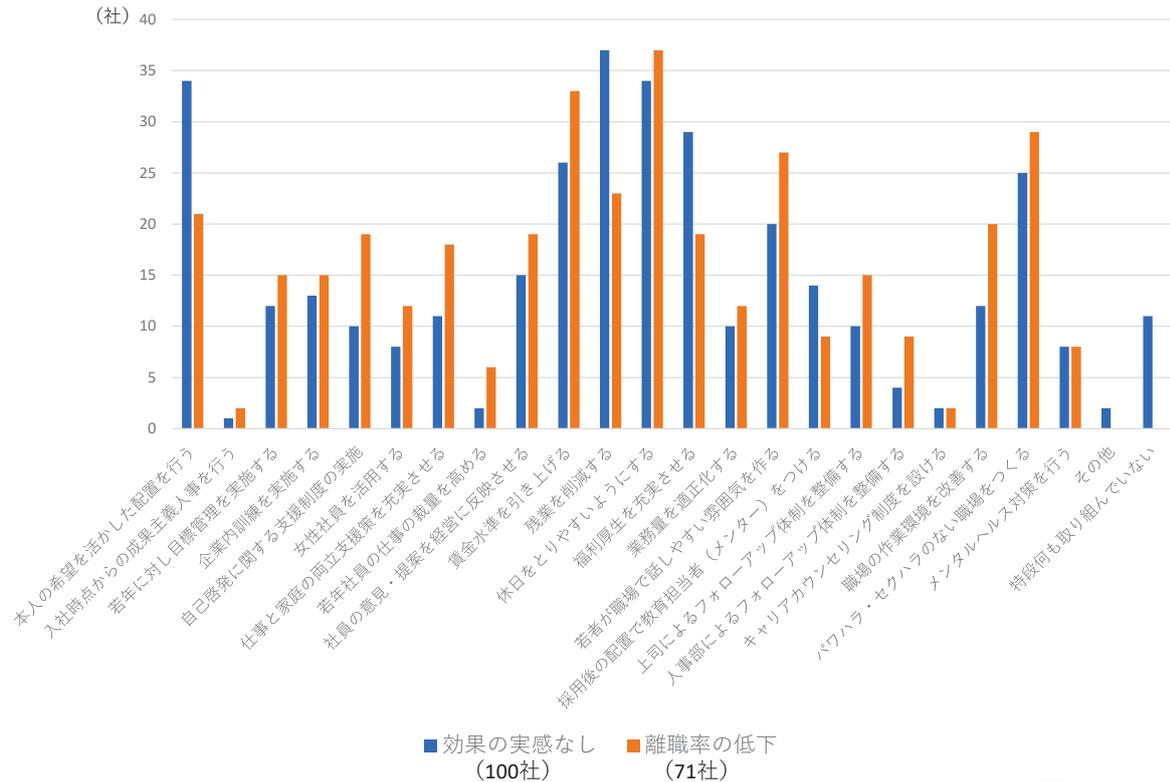
大学・地域共創プラットフォーム香川

若者定着のための取り組み×効果の実感 (全体)



大学・地域共創プラットフォーム香川

若者の定着のための取り組み×効果の実感（離職率の低下）



大学・地域共創プラットフォーム香川

3. 新卒3年以内の早期離職者対策について

【まとめ】

- 早期離職の理由は多様であるが、職場での人間関係、仕事内容、給与、労働時間や休日・休暇の不满など、ミスマッチや不本意な理由によるものが中心となっている。
- ミスマッチや不本意な離職を回避するためには、採用活動段階での適切な情報提供、入社後の定着に向けたサポートが必要。あわせて、企業や職場の現状をよりよいものに改善していくことも不可欠となる。
- 早期離職防止・定着のため企業側もさまざまな取り組みを行っているが、手ごたえを感じている企業がある一方で、効果を実感しにくい、あるいは適切な方策を講じることが難しいと感じている企業もある。
- これらの取り組みは、取り組むか否かだけでなく、どの程度、本格的に取り組むかということも問われているのではないか。
- 早期離職にかかわる課題の解決について、企業（経営者や人事担当者）だけで考えるのではなく、若者たちも交えながら検討する余地はあるのではないか。

大学・地域共創プラットフォーム香川

第2部 県内企業の多様な人材確保支援について

セッションⅠ 中途採用の目指すもの

大学・地域共創プラットフォーム香川

富山“Re-Design”ラボ

—大都市圏の中核人材活用によるRe-Design—

2025年2月3日

協同組合全国企業振興センター

代表理事 理事長 田中 尚人

大学・地域共創プラットフォーム香川

目次

1. 取組み事例(具体的な成果)
2. 富山“Re-Designラボ” の背景・目的
3. 取組みイメージ
4. 運営体制・役割
5. 事業の建付け・モデル
6. これまでの実績 (応募者数・エントリー企業数)

大学・地域共創プラットフォーム香川

1. 取組み事例(具体的な成果)

協力研究員に期待されるミッション

自社ブランド住宅の 販売促進に向けた組織活性化

伸び悩む一般住宅事業を強化するため、意見やアイデアを出しやすい社内環境を作り出すとともに、自社ブランドに対する理解度向上やマーケティング手法の見直しなどを進め、販売促進に向けた下地を整えた。

▼
取り組み内容

Step 1 営業・設計・業務の各メンバーに、現状把握と課題整理
現場で抱えている課題や目指したい方向性などについてヒアリング。

Step 2 仮説の設定とブランド戦略立案
自社ブランド購入者のペルソナやカスタマージャーニーを設定した上で、ブランド戦略を立案。

Step 3 アナログマーケティングの実施
Step2で立てた仮説を基に、モデルハウス内のパネル掲示、折り込みチラシの見直しなどを実施。

Step 4 デジタルマーケティングの検討
Step2で立てた仮説を基に、ホームページのリニューアル、住宅情報サイトやインスタ広告の活用に着手。

受入企業

共和土木株式会社

代表取締役社長 高村 克宏 さん

1947年設立。富山県東部や新川地区における公共工事を中心に、河川工事や道路工事、海洋土工工事、公共建築物や店舗の設計施工などを幅広く手がける。2001年に一般住宅建築部門として共和ホームを設立。2018年から天然木の無垢材をふんだんに使った自社ブランド「mokka(モッカ)」を展開している。

協力研究員

馬場 知瀬子 さん

東京都生まれ。大学を卒業後、株式会社東急百貨店に入社。以降、一貫して小売業に従事する。2012年にオープンした複合商業施設「渋谷ヒカリエ」では出店開発を担当し、直近まで店長として8フロアの店舗を統括していた。数人から数百人単位まで、規模に合わせてチーム力を高めるマネジメントスキルや顧客視点での対応に強み有する。

富山“Re-Design”ラボ 事例
CASE:

自社商品の
販売促進へ
組織を強化

1. 取組み事例(具体的な成果)

協力研究員に期待されるミッション

デジタルマーケティングの強化と そのための人材育成

今後の市場を見据えれば、必須と言えるITやSNSを活用したマーケティングの強化に向け、担当者のよき相談役として伴走支援。担当者の主体的な取り組みをフォローし、モチベーションアップにつなげた。

取組み内容

- Step 1 現状把握** SNSの運用などを担当している2人の社員にヒアリングし、従来の仕事のやり方や社内の環境を把握。
- Step 2 伴走・助言** Step1を踏まえ、2人の担当社員が取り組みたいことを引き出し、専門的な知見からアドバイス。
- Step 3 データ収集・対策** SNSの運用状況やその効果についてデータを収集し、そのデータを基に改善策や新たな取り組みを実施。
- Step 4 検証・ブラッシュアップ** Step3で実施した改善策や新たな取り組みの効果を検証し、さらにブラッシュアップ。

受入企業

正栄産業 株式会社

代表取締役社長 森藤 正浩 さん

1997年に創業。デザイン性と建物としての基本性能、価格の3要素が高いレベルでバランスの取れた住まいを提供するハウスメーカー。住宅にとどまらず、インテリアショップ、不動産会社、介護事業、飲食事業など幅広く事業を展開しており、お客様の暮らしを長きにわたってサポートできる体制を整えている。

協力研究員

山本 大輔 さん

大阪府出身。高校卒業後、独学でウェブデザインを勉強し、ECサイトを制作する企業数社で勤務する。前職ではウェブデザインだけでなく、商品説明文の作成から販促計画の立案までを含めたECサイトの運用、バックヤード業務用システムの企画から運用、保守までを一貫して手掛けた。

富山「Re-Design」ラボ 事例

CASE:

次代を見据えた
マーケティングの
強化と人材育成

1. 取組み事例(具体的な成果)

協力研究員に期待されるミッション

新入社員研修プログラムの ブラッシュアップ

一定水準以上の知識やスキルを習得できる新入社員研修を目指し、現行のプログラムが抱える課題のみならず経営課題全体を捉え直した。メンバーを巻き込み、大学での学びを活かし、成果を出せる研修体系の作り込みとプロセスの実装を行い、現在、試験的に運用を開始。2023年4月からの本格運用に備えている。

取組み内容

- Step 1 現状把握** 本質的な課題を捉えるため、社員へのインタビューや現場での観察を通じて現状を直視。
- Step 2 課題整理** Step1を基に5つの論点を導きだし、プロジェクトチームで議論の上、従来制度の課題とともに根本原因を抽出・整理。
- Step 3 改善計画立案** 成果が出る研修を目指し、研修の目的に応じたカリキュラムを設定。大学での学び、ベンチマーク企業へのインタビュー結果を反映した。内省のプログラムを実装した教科書を作成。
- Step 4 試験運用** 2022年度新入社員を対象に試験的に運用開始。育成の成果を出すことを念頭に、2023年4月からの本格運用にフィードバック中。

コンチネンタル株式会社
CONTINENTAL.CO.,LTD.

富山「Re-Design」ラボ 事例
CASE:

実効性の高い
新入社員研修
プログラムの策定

受入企業

コンチネンタル株式会社

代表取締役社長 岡田 俊哉 さん

1991年創業。工作機械のカバーを中心に板金製品全般を手掛け、少量多品種生産を強みとする。創業以来、右肩上がり成長。創業30周年を迎えた2021年に事業承継した。さらに飛躍するために、従来の鉄工所にとられない発想力・対応力・創造力を発揮して、多様なニーズに応える会社を目指すべく「やわらかい鉄工所。」をコーポレートスローガンに掲げる。

協力研究員

日西 勝 さん

富山県南砺市出身。東北大学経済学部を卒業後、住友スリーエム（現在のスリーエムジャパン）に入社し、2022年5月末まで約33年間勤務した。この間、販売やマーケティングなどに携わり、2016年からは研磨材製品事業部事業部長を務めた。真のニーズをとらえる感受性、販売・マーケティングの経験と能力、人材育成および組織強化ができることを強みとする。

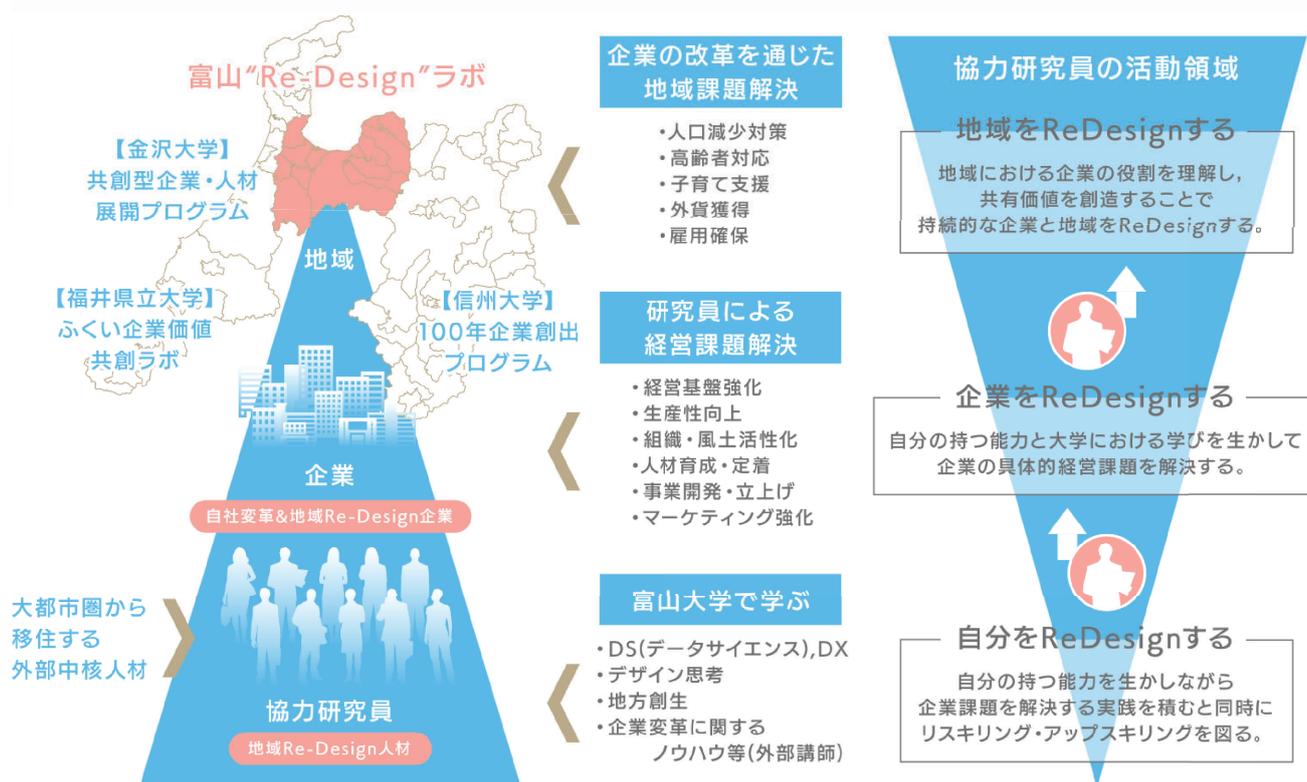
2. 富山“Re-Designラボ” の背景・目的

変化の目まぐるしい現代、地域企業において、
過去にとらわれずに未来を見据え、課題を整理し経営やビジョン、解決策等を
デザインし直す(=“Re-Design”する)ことによる変革が求められている。
その中で、今回ご紹介するプログラムでは、
富山大学、富山県、地域の企業や金融機関が連携し、「働きながら学ぶ場」を創出し、
大都市圏の中核人材(専門性やスキル、マネジメント能力を有する人材)を
富山大学の協力研究員として受入れ、変革を進める地域企業とのマッチングにより
地方創生の加速を目指す。



大学・地域共創プラットフォーム香川

2. 富山“Re-Designラボ” の背景・目的



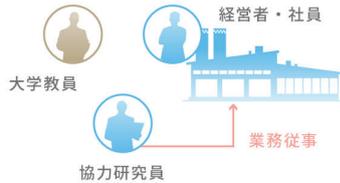
大学・地域共創プラットフォーム香川

3. 取り組みイメージ



富山“Re-Design”ラボ

① 経営課題の整理・解決サポート
(週 4 日)



協力研究者が担当企業において、問題分析を実施。
直面する課題の解決を行う。

② 富山大学教員・外部講師による
協力研究者指導 (週 1 日)



大学での専門領域や地域に対する新たな学びと
企業の課題解決とその先のシナリオ作成に
関する助言・アドバイスを受ける。

半年後

最終報告会において、自身、企業、地域の“Re-Design”シナリオと
受入企業での経営課題解決への取り組み成果を発表。

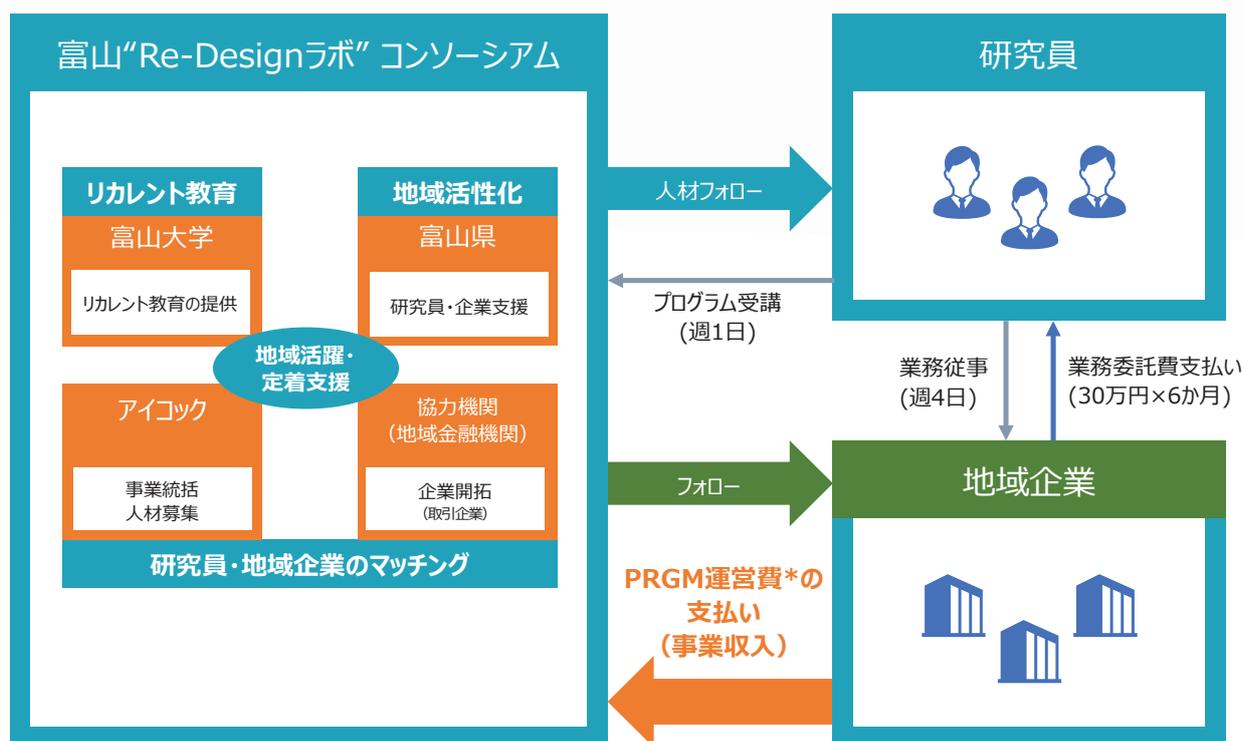
大学・地域共創プラットフォーム香川

4. 運営体制・役割



大学・地域共創プラットフォーム香川

5. 事業の建付け・モデル



*運営費収入 = 15万円/月×6か月×企業数

*プログラム修了後、継続の場合は別途人材紹介契約を締結

大学・地域共創プラットフォーム香川

6. これまでの実績

■3年間(令和4年～令和6年)のエントリー企業数 および 研究員の応募者数

		令和4年	令和5年	令和6年	合計
企業	エントリー社数	12	18	15	45
	決定社数	7	9	5	21
研究員	エントリー人数	91	117	123	331
	決定人数	7	9	5	21
	修了人数	7	9	5	21

大学・地域共創プラットフォーム香川

県内企業の 多様な人材確保に向けて

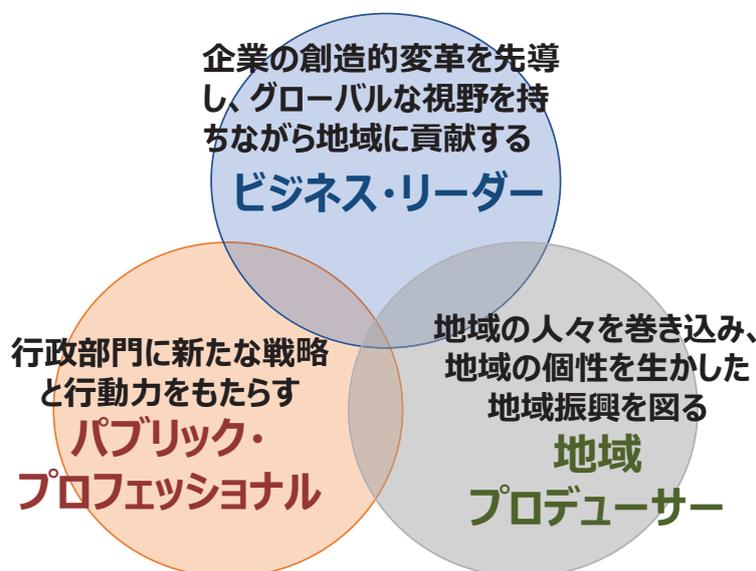
～大学院地域マネジメント研究科(社会人MBA)の
貢献可能性～

2025年2月3日
香川大学
大学院 地域マネジメント研究科
研究科長 中村正伸

大学・地域共創プラットフォーム香川

■研究科のビジョンと、育成を目指す人材像

**地域とグローバル社会を相互に共生する形で結び付け、
理論知と実践知を融合した教育・研究によって、
地域活性化に貢献するビジネススクール。**



大学・地域共創プラットフォーム香川

■地域マネジメント研究科の特色 1 / 3

●特色となる5ポイント



経営領域と地域公共領域の融合



理論と実践（研究者教員と実務家教員）



大学と地域（産業界・行政・NPO）の連携



きめ細やかな少人数教育



人的ネットワークづくり

大学・地域共創プラットフォーム香川

■地域マネジメント研究科の特色 2 / 3

- 中四国の国立大学法人でMBAを発行する、唯一の経営系専門職大学院（修士課程）。
- 2004年4月、一橋、神戸、九州に次いで4番目に開設。
- 現1年生は21期生。修了生は590名（1学年30名定員）
- 地域活性化への貢献を照準に、日本で唯一、名称に「地域」が入っているビジネススクール。

大学・地域共創プラットフォーム香川

■地域マネジメント研究科の特色 3 / 3

- 学生の多くは、昼間に働く社会人。
 - 民間企業、行政、教育機関、介護・医療機関、NPO等に勤務。
 - 経営者、幹部クラスから、中堅、若手まで通学。
 - 年齢層は20代から60代（上限なし）。
 - 修了後、起業、新規事業責任者、海外赴任等で活躍。
 - 博士課程への進学者も。

組織の中核人材を育成する装置として、
20年間機能。

大学・地域共創プラットフォーム香川

中途採用の目指すもの【政策提言と具体的な社会実装】

①政策提言

- 県内企業の中途採用へのニーズは大きく、とくに**専門人材・コア人材の獲得**を支援する必要性が高い。
- 賃金水準の高い人材を他県から採用しようとするれば、企業側には費用対効果に関わるリスクがあり、転職者には能力発揮に関わる不安があるだろう。
- 双方の懸念を払しょくする**段階的なマッチング**、**転職者への伴走支援**などが必要なのではないか。

②具体的な社会実装

- “富山” Re-Design” ラボを参考に、高度な人材の中途採用に関する支援の仕組みを模索する。

⇒**コンソーシアムの立ち上げ・効果的な運営**、**大学の支援体制の構築**などが必要となる。

大学・地域共創プラットフォーム香川

セッション2 高度外国人材の目指すもの

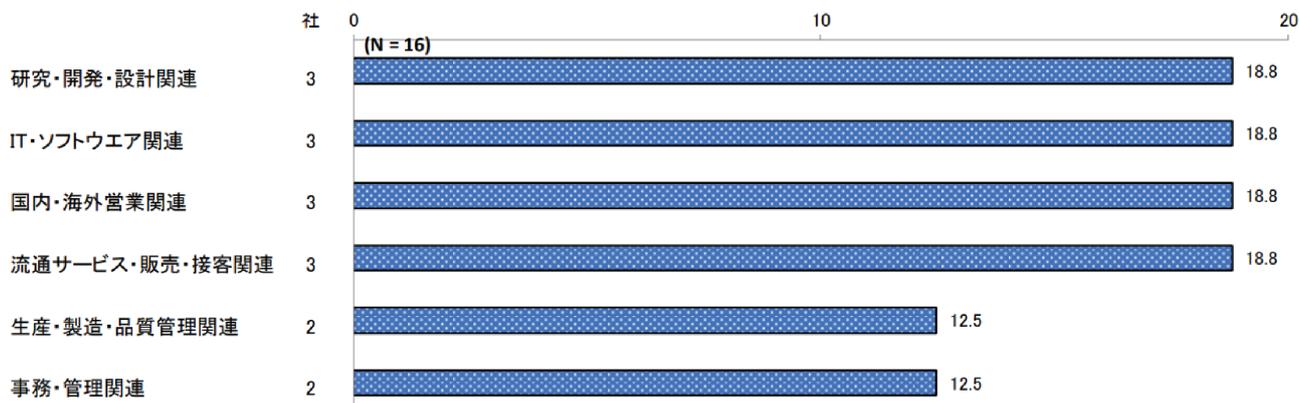
大学・地域共創プラットフォーム香川

県内企業アンケート調査の結果

雇用している高度外国人材の職種（複数選択） ※雇用実績のある16社のみ回答

・高度外国人材の職種は「研究・開発・設計関連」「IT・ソフトウェア関連」「国内・海外営業関連」「流通サービス・販売・接客関連」が18.8%（3社ずつ）

→ **技能、語学関連を生かした職種が多い。**



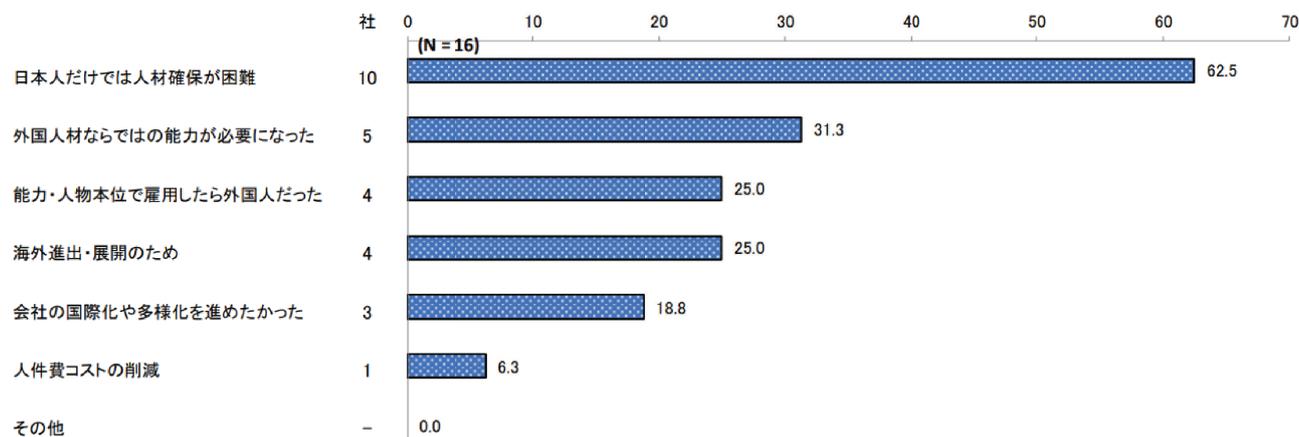
大学・地域共創プラットフォーム香川

県内企業アンケート調査の結果

高度外国人材を雇用しはじめた理由(複数選択) ※雇用実績のある16社のみ回答

・「日本人だけでは人材確保が困難」62.5%、「外国人材ならではの能力が必要になった」31.3%、「能力・人物本位で雇用したら外国人だった」「海外進出・展開のため」が25.0%

→日本人の代替としての雇用が一番多いが、**ポジティブな雇用の要因がより重要ではないか**



大学・地域共創プラットフォーム香川

県内企業アンケート調査の結果

高度外国人材雇用上の課題(複数選択) ※雇用実績のある16社のみ回答

・「言語によるコミュニケーションが十分にとれない」「働くうえで価値観の相違がある(休暇、残業、生活習慣等)」43.8%、「特にない」が25.0%

→**多文化共生の考え方の浸透が今後必要ではないか**

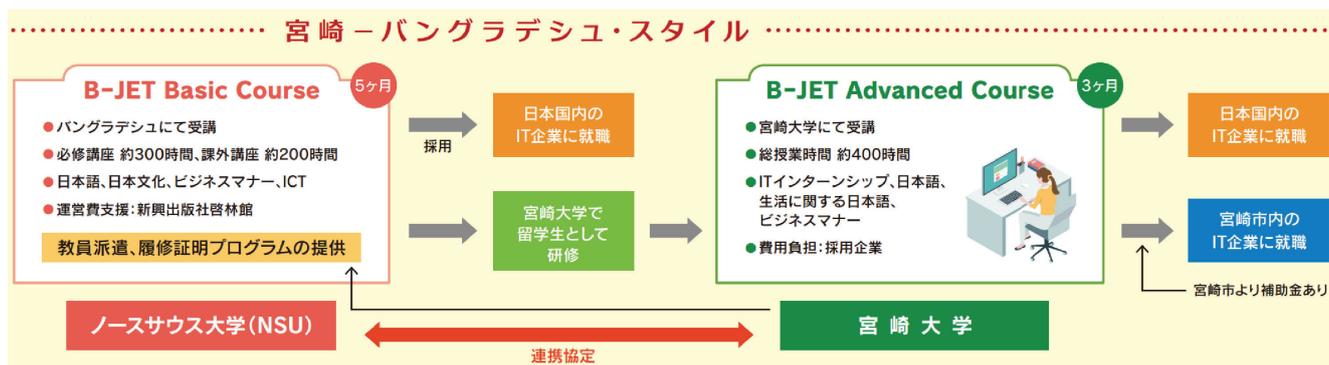
まとめ

- ・高度外国人材の採用実績は現状ではまだ少ない
- ・少数だが高度外国人材の採用実績のある企業がある:「製造業」など
- ・今後は雇用においてポジティブな要因がより重要ではないか
- ・今後は多文化共生の考え方の浸透が必要ではないか

大学・地域共創プラットフォーム香川

B-JETの紹介

- Bangladesh-Japan ICT Engineers ‘ Training Programの略
- JICAとバングラデシュの政府機関 (Bangladesh Computer Council: BCC) が 2017年から2020年に実施したJICAの技術協カプロジェクト
- 2021年以降、現在までその後継事業が実施されている
- バングラデシュのIT人材が、首都ダッカにて日本語・IT・ビジネスマナーを学び、日本企業への就職を支援する研修プログラム
- 地域活性化を目指した産官学連携による**高度外国人材導入モデル**



出所: 宮崎大学・JICA九州の資料より

(<https://www.miyazaki-u.ac.jp/kokusai/mediafile/75a38a2d1a1a7b3202664c511381b4d3f585c24b.pdf>)

大学・地域共創プラットフォーム香川

インターンシップの導入

- 留学生による3ヶ月程度の県内企業でのインターンシップの導入
- インターンシップ前に日本語の教育とビジネスマナーの研修を受ける
→ できればインターンシップ受入先企業に就職

大学・地域共創プラットフォーム香川

今後のインターンシップ実施の際に重要なこと

日本の大学側に求められること 企業側に求められること

株式会社UR/ヒューマンプランニング株式会社
代表取締役 植村 亮子

大学・地域共創プラットフォーム香川

サポート体制の整備について

文化的な違いはもちろん、法律の解釈等も違う上に、言語の障壁による誤解も考えられます。

日常のコミュニケーションにおいて十分なサポートが最も重要。また、住居の手配、交通手段の確保、医療保険の加入など、生活面でのサポートも考慮しておかなければ、重大なトラブルに発展することも考えられます。

大学・地域共創プラットフォーム香川

環境への順応促進

留学生が新しい環境になるべく早く順応しやすくするために。社内外での交流の機会を提供することも重要です。最近では、入国前後問わずSNSなどで既に日本国内に居住する同胞のコミュニティが存在しているため彼らと情報交換はしていますが、日本や会社に馴染んでもらうためには自社でのイベント開催する、もしくは支援会社からの協力を得ることも可能です。

大学・地域共創プラットフォーム香川

報酬と労働条件

有償インターンシップの場合、適正な報酬を提供することが必須です。

最低賃金と労働条件の遵守が求められます。

大学・地域共創プラットフォーム香川

目的と成果の明確化

インターンシップの目的と学生に期待する成果を事前に明確にしておくことが最も重要です。

インターンシップ生を受け入れ、その後自社で活躍する人材を獲得していくためのカリキュラムと制度設計が必要となります。

これにより、インターンシップが双方にとって有意義なものとなるよう導くことができます。

大学・地域共創プラットフォーム香川

大学側に求められること！

①サポート体制の整備について

まずは日本の文化や習慣について最初に教えていただく。

一番ギャップが出てくるのが、「空気を読む」などの、

「言わなくても分かるでしょ」の日本文化。

分からないことは必ず質問する。分からないことを伝える。

大学・地域共創プラットフォーム香川

大学側に求められること！

②環境への順応促進

大学内での他学生との交流の機会を設けるなど。

大学・地域共創プラットフォーム香川

企業側に求められること！

③報酬と労働条件

④目的と成果の明確化

上記については日本人インターンシップや学生アルバイトを雇用する場合と変わりません。

企業側が責任を持って、自社経営方針の観点からしっかりと計画を立てて受け入れを行う必要があります。

大学・地域共創プラットフォーム香川

多文化共生の重要性

- 産業界では労働力不足という眼前の課題重視、短期的視点
- しかし、well-being重視、中長期的視点は非常に重要
- あせらず時間をかけて取り組むことが重要(急がば回れ！)

大学・地域共創プラットフォーム香川

高度外国人材の目指すもの【政策提言と具体的な社会実装】

①政策提言

- 外国人材だからこそその活用(適材適所)を後押し
→外国人材活用に向けた企業の試みを支援
- 外国人材は働くだけではない。生活、地域定着の視点が重要
→多文化共生の取組を支援

②具体的な社会実装

- 留学生による3ヶ月程度の県内企業でのインターンシップの導入
 - インターンシップ前に日本語の教育とビジネスマナーの研修を受ける
→できればインターンシップ受入先企業に就職
 - 多文化共生の取組
→産官学連携を重視した実践型教育プログラムの実施
- ⇒労働力不足という課題重視、短期的視点よりも、well-being重視、中長期的視点が重要
大学、地域企業、経済団体、行政がそれぞれ時間をかけて議論していくことが大事

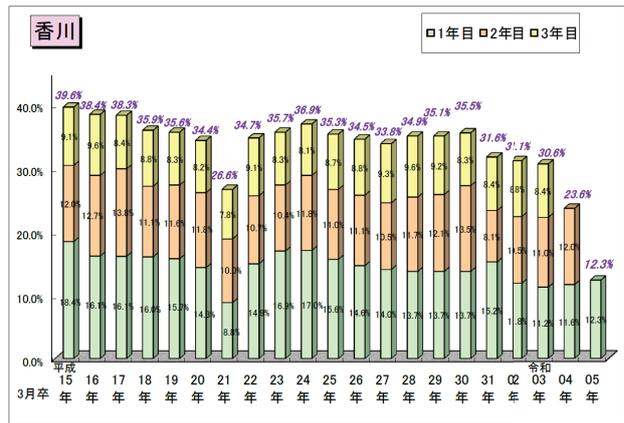
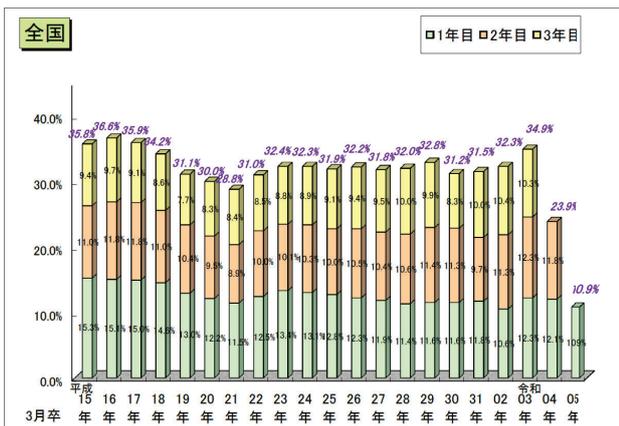
大学・地域共創プラットフォーム香川

セッション3

早期離職者対策の目指すもの

大学・地域共創プラットフォーム香川

学歴別就職後3年以内離職率の推移 【大学卒】



(注1)事業所からハローワークに対して、新規卒業者として雇用保険の加入届が提出された新規被保険者資格取得者の生年月日、資格取得加入日等、資格取得理由から各学歴ごとに新規学校卒業者と推定される就職者数を算出し、更にその就職日から離職者数・離職率を算出している。
必ずしも香川県在住者の就職者数、離職者数を意味するものではない。
(注2)各数値は、各年の3月に卒業する新規卒業者の卒業年から3年後の6月時点で把握した離職率である(例えば、令和3年3月に卒業する新規卒業者の数値とは、令和6年6月時点で把握した、就職後の3年以内の離職率である)。ただし、令和4年3月及び令和5年3月の数値は、令和6年6月時点で把握した離職率である。
(注3)離職率については、小数点第2位を四捨五入している。
なお、「合計」の離職率は、四捨五入の関係で1年目、2年目、3年目の離職率の合計と一致しないことがある。

出所：香川労働局

- 新卒者の早期離職は長らく続いている現象。早期離職防止・定着のため企業側もさまざまな取り組みを行っているが道半ば・・・。
- 新卒ではなく中途採用への切り替えも1つの方法であるが、中途採用でも離職という課題は残る。
- これまでとは(少し)違うアプローチで何か出来ないか。

大学・地域共創プラットフォーム香川

早期離職者対策の目指すもの【政策提言と具体的な社会実装】

政策提言：

- ◆ 香川県への人材の定着率をあげるためには、個別企業の取り組みだけでなく、**大学を含む教育機関・経済界・行政が連携**し、雇用者側・労働者側双方の知を集めて取り組む必要がある。
- ◆ ミスマッチの抑制と人材の定着に向け、若者たちが「**ここで働きたい**」と思えるような**魅力のある企業・職場への変革**が必要となる。そのためには、経営者・人事担当者の意識改革が不可欠となる。若者自身も考えることが必要。

具体的な社会実装：

- ①若者（学生）と企業関係者の共同による課題解決
 - ⇒ **地元企業との共育型のPBL授業**
学生と若手社員がチームとなり人材定着について提言を行う
*従来型のインターンシップとは異なる
- ②企業の経営者や人事担当者との意見交換の場
 - ⇒ **リカレント教育（リカレント専門講座）**や**セミナー**の開催
*知識のアップデート、知識の深化やベストプラクティスの共有
- ③さまざまなプレイヤーが意見を交換できる場
 - ⇒ 多様なメンバーで香川県での未来の働き方を考えるワークショップ

これらを通して、香川県での人材の定着のモデルを示す

大学・地域共創プラットフォーム香川

令和6年度大学・地域共創プラットフォーム香川(香川県)
産学官共創チャレンジ支援補助金 交付決定事業一覧

	事業名	事業実施主体
1	「讃岐米」のブランドマーケティング戦略の研究	香川大学
2	農業軽労化ロボットの有効活用のための人材育成 かがわの会社探検	香川大学
3	かがわの会社探検	香川大学
4	香川大学型 DX 推進モデル (DX 推進カタログサイトの構築, DX 人材育成教育プログラムの開発) の地域展開	香川大学
5	まんのう町たからもの「再！」発見プロジェクト	香川大学
6	未来教室(小児生活習慣病対策のための出前教室の実施と、香川県下における地域に根ざした指導人材の育成)	香川大学
7	サンポートエリアの魅力発信事業 (バーチャルツアー)	徳島文理大学
8	クラファンで解決まで導く完結型探究学習プログラムの実践	香川高等専門学校
9	Wel-Fes in SGU 2024	四国学院大学
10	「石の島」小豆島の歴史文化と魅力を発信する商品開発事業 - 石チョコ・プロジェクト -	土庄町
11	適塩レシピの研究・PR を通じた学生と事業者のマッチング事業	丸亀商工会議所

12	～地域に根差し、科学と生活をつなぐ理系人材創り～	高松帝酸(株)
13	DX・デジタルを通じた理工系分野の興味・関心を高めるイベントの開催	西日本放送サービス(株)
14	県内企業の多様な人材確保支援	大学・地域共創プラットフォーム香川
15	高大連携キャリアデザイン研修事業	大学・地域共創プラットフォーム香川
16	香川わくわく子ども大学	大学・地域共創プラットフォーム香川
17	外国人材活用セミナー & 交流会	大学・地域共創プラットフォーム香川

香川大学

参画：（株）四国ライス、香川県交流推進部県産品振興課、香川短期大学

「讃岐米」のブランドマーケティング戦略の研究

- 事業概要：（目的）讃岐米の魅力を消費者に広く認知、消費増を推進する施策に繋げる。
（日時）令和6年6月18日～令和7年2月28日
（内容）香川大学のデザイン思考を活用し、産学官で、市場調査、商品開発、プロモーションなどブランディング活動を行う。
- 成果・評価：・プロモーション活動：「さめきマルシェ」「さめき応縁むすび市」にて学生考案のおむすびを販売、予定数（約650個）完売
・関西万博（令和7年4月～10月）で香川大生考案のおむすびが販売決定
- 今後の課題：関西万博でのおむすび販売を通じて、お米のみならず香川産品および香川県に興味を持つ「関係人口」増加へのチャレンジ
- 交付決定額：1,673,000円



「さめきマルシェ」出店の様子



「さめき応縁むすび市」出店の様子



広報インスタ



大学プレスリリース

当取組みの問い合わせ先：香川大学創造工学部 石塚昭彦
香川県高松市幸町1-1
(TEL) 087-832-1489 (e-mail) ishizuka.akhiko@kagawa-u.ac.jp

香川大学

参画：大豊産業（株）、香川県農業試験場

農業軽労化ロボットの有効活用のための人材育成

- 事業概要：（目的）各種イベントを通じて、農業従事者とロボット開発者相互の理解を深め、産学官が連携して真に農業の軽労化に貢献する技術開発に繋げる。また若者の農業への興味も創出する。
- （場所）鬼無町柑橘畑，香川大学創造工学部・農学部，府中果樹研究所
- （内容）
 - 農業散布ドローン現場及び果樹研究施設の視察
 - ドローン開発に関する勉強会・スマート農業に関するセミナー開催
 - 創造工学部オープンキャンパス・農学部収穫祭におけるロボット展示・実演・人材交流



- 成果・評価：多様なイベントでの人材交流を通して、様々な立場からの意見収集を行った結果、葉裏への農業散布ロボットの必要性・重要性を確認できた。
- 今後の課題：傾斜地にある果樹園での葉裏への農業散布ロボットの開発を持続的に進めるように計画を立てて、実用化に向けた総合的な体制作りを押し進める。
- 交付決定額：3,000,000円

当取組みの問い合わせ先：香川大学創造工学部 前山 祥一
香川県高松市林町2217-20 香川大学林町キャンパス
(TEL) 087-864-2324 (e-mail) maeyama.shoichi@kagawa-u.ac.jp

香川大学

参画：(株)石垣、オリエンタルモーター(株)、(株)タダノ、
(株)レクザム、香川県教育委員会

かがわの会社探検

○事業概要：(目的)工場見学と工作教室を組み合わせた活動で、地域の子どもたちおよび保護者に、地域企業と理科・算数への関心を持ってもらい、将来県内で活躍する理系人材を育成しつつ、保護者の地域企業の認知度を高める。

令和5年	7月22日(月)	7月25日(金)	8月5日(月)	8月9日(金)
(日時)	13:00-16:00	13:00-16:00	13:00-16:00	13:00-16:00
(場所)	オリエンタル(株)	(株)タダノ	(株)石垣	(株)レクザム
(内容)	工作教室(電流イライラ迷路)を製作後、工場見学を行った。	工作教室(クレーンゲーム)を製作後、工場見学を行った。	工作教室(アクアリウム)を製作後、工場見学を行った。	工作教室(3Dペン体験)を行った後、工場見学を行った。
	参加：19組	参加：38組	参加：37組	参加：19組



- 成果・評価：参加者、協力企業からも、高い評価をいただいたが、募集に対して10倍を超える応募があり、地域において高い関心を持たれていることがわかった。
- 今後の課題：参加企業の拡充、満足度向上のための実施内容の見直し
- 交付決定額：270,000円

当取組みの問い合わせ先：香川大学創造工学部（かがわ源内ネットワーク） 石原 秀則
(TEL) 087-864-2368 (URL) <https://kagawa-gennai.net>

香川大学

参画：(株)リコージャパン、日本マイクロソフト(株)、高松商工会議所、
香川県デジタル戦略課

香川大学型DX推進モデル

(DX推進カタログサイトの構築、DX人材育成教育プログラムの開発)の地域展開

○事業概要

- (目的)香川県内の中小企業のDX推進にむけた人材育成
- (場所)香川大学 ※オンライン含む
- (内容)・DX推進のためのシンポジウム開催
 - ・ノーコード・ローコードシステムの開発スキル習得のためのハンズオンセミナー開催
 - ・DXに関する取り組みをまとめた電子教科書「業務システム 内製開発 応用編」作成

○成果・評価：KadaiDXシンポジウム(8/2)開催し、415名が参加

KadaiDX塾を2回(1/31, 2/7)開催し、238名が参加

○今後の課題：中小企業以外の県内自治体・教育機関への普及、補助金終了後における事業としての自立

○交付決定額：4,980,000円



当取組みの問い合わせ先：香川大学 情報部 情報企画課 武田
香川県高松市幸町2番1号
(TEL) 087-832-1024 (URL) <https://dx-labo.kagawa-u.ac.jp/>

香川大学

参画：まんのう町、（一社）サンフラワーまんのう

まんのう町たからもの「再！」発見プロジェクト

○事業概要：(目的) 町内中学生と大学生が町の魅力動画を作成・発信することによる両者の町への愛着形成・強化

(日時) 令和6年8月～令和7年2月

(場所) まんのう町内

(内容) （一社）サンフラワーまんのう、まんのう町から町内の一次産業や町内資源、地域の課題について学び、中・大学生の視点でまんのう町の魅力動画を作成・発信する。



○成果・評価：中学生、大学生、役場職員混合のアイデアソンを行い、魅力発信動画を4本作製し公開。中学生へのアンケートから「町の魅力に気付いた」旨の前向きな回答が多くあった。

○今後の課題：関係が築かれた先の、次年度以降の無理のない継続方法の模索と大学生の関わり方が今後の課題

○交付決定額：1,400,000円

当取組みの問い合わせ先：国立大学法人香川大学地域創生推進部地域連携推進課
横田 育美
(TEL) 087-832-1370 (URL) <https://rhrd-center.kagawa-u.ac.jp/>

香川大学

参画：松谷化学工業（株）、香川県健康福祉部健康福祉総務課

未来教室(小児生活習慣病対策のための出前教室の実施と、香川県下における地域に根ざした指導人材の育成)

事業概要：

(目的)小児期からの生活習慣病予防を学ぶ体験型イベントを通じて、家族全体の健康意識を高めるとともに、イベントの実施につき、県下の大学生や地元医療スタッフ等にも参加してもらい、指導人材等の育成を図る。

(日時)①2024年7月28日 未来教室plus ②2024年12月13日 未来教室in香川大学教育学部附属高松小学校
③2025年1月31日 未来教室 運営スタッフ講習会

(場所)①③香川大学医学部附属病院 ②香川大学教育学部附属高松小学校

(内容)①40名の児童・保護者が、栄養・歯科・病院の体験ブースで身体の仕組みや生活習慣の重要性を学習。
②102名の児童が、医師・歯科医師・看護師・理学療法士・管理栄養士・歯科衛生士の体験ブースで生活習慣の重要性を学習。
③14名の参加者に未来教室を通じた生活習慣病啓発の指導人材を育成する講習会を実施。

○成果・評価：①アンケート結果から、身体への興味・健康意識の向上が見られた。②規模を大きくしたうえで児童が興味を持てるよう工夫し実施し、小児期からの生活習慣の重要性に関する啓蒙がより広くできた。③指導のリーダーとなる人材の確保する方法として初めての取り組みができた。

○今後の課題：さらなる参加拡大と継続的な人材育成を図り、多くの地域・学校への展開を目指す。今回もっとも注力したSNSやHPを使用したPR活動をさらに強化し、情報発信する方法をよりBUする必要がある。

○交付決定額：1,105,000円



当取組みの問い合わせ先：香川大学医学部附属病院 内分泌代謝内科
〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1
(TEL) 087-898-5111 (URL) <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/endo-metabo/miraiyoushitsu/>

徳島文理大学

参画：高松市都市整備局都市計画課、西日本放送サービス（株）、シンボルトワー開発（株）

サンポートエリアの魅力発信事業（バーチャルツアー）

○事業概要：

（目的）大学教員と大学生が地域の事業者等とともに、新しく変化するサンポートエリアの魅力を大学生の視点を通じて動画で発信しつつ、エリアの魅力や街づくりについて学ぶ。

（内容）2025年にサンポートエリアに移転する徳島文理大学の学生がフィールドワークを行いサンポートエリアの魅力あるスポットを探索。その後、360°動画で選定したスポットを撮影し、「バーチャル360」サイト上で発信。



△フィールドワークの様子



△公開サイト

<https://virtual360jp.com/vrspot/sunport-takamatsu/>

○成果・評価：11月の公開からサイト閲覧数4万、動画総視聴数7千と多くの人に閲覧いただき、実際に来訪者数も増加するデータを取得できた。

○今後の課題：インバウンド観光者にむけた多言語化や、アリーナなど新規施設の紹介などより深く連携を行いサンポートエリアの魅力発信につなげたい。

○交付決定額：2,950,000円

当取組みの問い合わせ先：徳島文理大学 入試広報部

(TEL) 087-899-7370 (URL) <https://www.bunri-u.ac.jp>

香川高等専門学校

参画：（株）ナイスタウン、丸亀市、丸亀市市民交流活動センターマルタス

クラファンで解決まで導く完結型探究学習プログラムの実践

○事業概要：（目的）地域課題を解決する事業の立ち上げを目指したクラウドファンディングに挑戦する探究学習プログラムを実践し、香川県に関わる人材育成の促進を目指す。

（日時）令和6年6月18日～令和7年2月28日

（場所）香川高等専門学校、丸亀市市民交流活動センターマルタス、協力農家様農園等

（内容）学生10名がマルタスに登録する市民活動7団体と地域課題について対話会を実施。それをもとにビジネスプランを作成、クラファンサイトに登録した。



○成果・評価：学生へのアンケートより、プログラムの満足度は4.6/5.0と高く、「将来、起業したい」「香川県で働きたい」が共に6割と、起業意欲や香川県に定着する人材育成に効果があることが確認できた。

○今後の課題：クラファンサイトへの登録作業時間の確保および指導人材の充実

○交付決定額：910,000円

当取組みの問い合わせ先：香川高等専門学校
香川県高松市勅使町355

(TEL) 087-869-3818 (URL) <https://www.kagawa-nct.ac.jp/>

四国学院大学

参画：善通寺市（社会福祉課）、香川県教育委員会（高校教育課）、善通寺市社会福祉協議会、香川県ソーシャルワーカー協会、NPO法人 SAJA たんぽぽ、NPO法人 L'espace labo、福祉worksまんまーれ

Wel-Fes in SGU 2024 人をつなぎ、社会を支える、ふくしの力

- 事業概要：（目的）児童・生徒・学生、その保護者や学校関係者等が社会福祉分野への興味・関心を高め、県内における社会福祉領域への進路・就職意欲の向上
（日時）令和6年11月2日（土）10：00～16：00
（場所）四国学院大学
（内容）産学官が連携して社会福祉学部ふくし祭（Wel-Fes in SGU）を開催し、社会福祉体験機会を提供。
- 成果・評価：当初参加者目標が200名以上であったところ、延べ325名が参加された。高校生やその家族・保護者、小中高教員や学校関係者や福祉施設等の関係者が多く参加され、アンケートからも社会福祉分野の仕事や進路への関心・興味をもったとの回答が91.7%であった。
- 今後の課題：さらに参加者の幅を広げていけるよう、民間団体・NPO・地方公共団体等が協働して企画を考案したり、広報活動に努めていきたい。アンケートの回答方法等についてはさらに検討を行い、有効回答率も上げていきたい。
- 交付決定額：477,000円



当取組みの問い合わせ先：四国学院大学 リエゾン・センター
善通寺市文京町三丁目2番1号
(TEL) 0877-62-2208 (URL) <https://www.sg-u.ac.jp/>

土庄町

参画：香川大学、道の駅大坂城残石記念公園 おみの里友の会、春日堂（株）、（株）パオフィール

「石の島」小豆島の歴史文化と魅力を発信する商品開発事業 -石チョコ・プロジェクト-

- 事業概要：（目的）江戸時代より大坂城の石垣をはじめ島内外で活用されてきた小豆島石の歴史文化と魅力を発信するツールとして、観光客のお土産になる商品「石垣チョコ」を開発し、「石の島」としての小豆島の地域ブランド力を強化する。
- （内容）・小豆島の菓子製造業者・土庄町・香川大学生が連携してチョコレートのパッケージをデザイン。
・石垣チョコと名付け、島内外でのイベントなどで試供品を提供するとともに、アンケートを実施。
・約300名からのアンケートをもとに、商品として販売するための改善の検討を行い、販売計画をブラッシュアップした。
- 成果・評価：島外からの参加者が多いタートルマラソンの参加賞として配布、さらに島外でのイベントにおいて本町の公式SNSをフォローしていただいた方に配布したことで「石の島」として認知度の低い若年層へのブランド力強化ができた。
- 今後の課題：現地で活動する時間が限られ、産学官全員の意見を反映しにくくなってしまった。計画性を持って行うことが課題である。
- 交付決定額：1,466,000円



当取組みの問い合わせ先：土庄町企画財政課
香川県小豆郡土庄町淵崎甲1400番地2
(TEL) 0879-62-7014 (URL) <https://tonosho-campus.net/>（域学連携交流事業）

丸亀商工会議所

参画：香川短期大学、丸亀市、丸亀市中央商店街振興組合連合会、香川県農業協同組合丸亀統括店、
(株)メフォス、(株)丸亀給食センター

適塩レシピの研究・PRを通じた学生と事業者のマッチング事業

○事業概要：(目的) ・健康で楽しく働ける地域づくり推進のための「適塩レシピ」の研究・PRを通じた学生のスキルアップ

・健康に配慮した経営の推進による企業の魅力UP

(日時) 令和6年6月～令和7年2月

(場所) 香川短期大学、讃さん広場滝宮店、FACE21、各企業ほか

(内容) ①適塩研究 ②学生と食品製造現場等を繋ぐワークショップ開催

③地域住民へサンプル品配布 ④企業へレシピ集進呈

⑤その他適塩事業PR

○成果・評価： ・香川短期大学生5名が中心的に関わり、栄養士として県内の企業に就職。
・県内企業数社及び2つの自治体に適塩レシピ集を提供し、健康経営を促進。
・PR活動を通して、県民に適塩や大学の取組みに関心を持っていただいた。

○今後の課題：住民や従業員の健康増進に寄与し、企業の魅力UPに貢献。
学生は県内課題への取組みを通じて、県内就職につながった。

○交付決定額：1,660,000円



当取組みの問い合わせ先：丸亀商工会議所
香川県丸亀市大手町一丁目5番3号
(TEL) 0877-22-2371 (URL) <https://www.marugame.or.jp/data/etc/recipe2/>

高松帝酸株式会社

参画：産業技術総合研究所、高松大学、高松東高等学校

～地域に根ざし、科学と生活をつなぐ理系人材創り～

○事業概要：(目的) 科学実験を通じた地域連携による将来の理系人材育成

(場所) 高松東高等学校、高松大学、産総研四国センター、香川大学

(内容) 高松東高校の生徒を中心に、①～③は科学実験ショー及びワークショップ実施

④は科学実験ショーのみ実施

①産総研一般公開イベント ②香川大学『かがわけん科学体験フェスティバル』

③前田小学校放課後倶楽部 ④高松大学学祭

○成果・評価：高校生が主体となり企画・運営する科学実験ショー+ワークショップは、親子に
大好評で科学を身近なものと感じる機会となった。高校生も外部に向けた
ショーを試行錯誤し、行うことで、表現力、演出力、企画力等の獲得に繋がった。

○今後の課題：継続した活動とするために、高松東高校内でのノウハウ継承と、ワークショップを行う
際の、材料・消耗品費用の確保。

○交付決定額：1,919,000円



当取組みの問い合わせ先：高松帝酸株式会社 総務部 広報・マーケティンググループ
長谷部 匡昭
(TEL) 087-822-5222 (URL) <https://www.takatei.co.jp/>

西日本放送サービス株式会社

参画：香川高等専門学校、香川大学、徳島文理大学、NTTコミュニケーションズ（株）
高松市総務局デジタル推進部デジタル戦略課

DX・デジタルを通じた理工系分野の興味・関心を高めるイベントの開催

○事業概要：(目的) 県内各大学の地域課題解決に向けたDX等に関する取り組みの紹介や、デジタルソリューションの体験・講演会の実施による理工系進学意識の醸成

(日時) 令和6年8月25日(日)

(場所) サンポートホール 第一小ホール

(内容) 「リケラボかがわ」として「デジタルとスポーツの融合!？」というタイトルでサッカー元日本代表福西崇史さんの講演会の開催。デジタルソリューションの体験コーナーや参画各大学・高等専門学校の取り組み紹介ブースの設置。香川県主催「かがわスタートアップフェスタ」と連携し同日開催とした。



○成果・評価：当日68名の来場があり、アンケートではVR技術への興味や驚き、最新技術への関心など理工系進学意識が高まったという回答があった。

○今後の課題：実施時期や内容など集客促進。

○交付決定額：2,995,000円



当取組みの問い合わせ先：西日本放送サービス株式会社
高松市春日町1737-1
(TEL) 087-867-6669 (URL) <https://www.rnc-s.co.jp/>

大学・地域共創プラットフォーム香川

参画：大学・地域共創プラットフォーム香川、香川大学、高松大学、香川経済同友会、高松商工会議所、香川県中小企業家同友会、香川県、東かがわ市、土庄町

県内企業の多様な人材確保支援

○事業概要：(目的) 産学官から成るプロジェクトチームで、県内企業の中途採用や高度外国人材の活用、早期離職者等に関する実態調査と分析を行い、長期にわたり県内企業等で活躍・定着する多様な人材確保のための具体的な対策を提言する

(日時) 令和6年5月～令和7年2月

(内容) ①県内企業の多様な人材確保に関するアンケート調査(8～12月)、

②プロジェクト会議(5～12月)、③特別セミナー(7/1)、

③中間報告会(10/21)、④シンポジウム(2/3)延べ参加者総数：302名

○成果・評価：①県内本社企業の人材に関する実態把握とシンポジウム等での結果公表

②留学生(高度外国人材)の県内企業インターンシップの先鞭となるインドネシアスマラン国立大学とのMoU締結

③新たな産学官連携による政策提言

○今後の課題：提言を受けて、産学官連携による新たな

①中核人材確保モデル、

②留学生によるインターンシップ制度の導入、

③若者(学生)と企業関係者による共育型PBLの実施

○交付決定額：3,251,000円



当取組みの問い合わせ先：大学・地域共創プラットフォーム香川（プロジェクトチーム）
香川県高松市幸町1-1
(TEL) 087-832-1368 (URL) <https://chiiki-pf.kagawa-u.ac.jp/>

大学・地域共創プラットフォーム香川

参画：高松大学、香川県立保健医療大学、香川大学、四国学院大学、徳島文理大学（香川キャンパス）、香川短期大学、高松短期大学、せとうち観光専門職短期大学、高松商工会議所、香川県中小企業団体中央会、香川県教育委員会、香川県総務学事課、香川県高等学校PTA連合会

高大連携キャリアデザイン研修事業

- 事業概要：(目的) 高等学校の生徒の保護者に対し、県内大学等や県内企業についての情報提供を行うことで、県内大学等への進学率向上・将来的な県内定着につなげる
- (日時) 令和6年11月9日（土）
- (場所) かがわ国際会議場
- (内容) 香川県高等学校PTA連合会と連携して、同団体機関誌において大学等の情報を発信するとともに、専門家や県内大学等、県内企業等が会場において進路選択に係る講演やプレゼン、県内大学等の個別相談会を実施
会場参加：約80名、オンライン参加：約30名
- 成果・評価：県内大学等担当者による保護者のための個別相談会の実施により、より県内大学等の進学の促進に繋がる取組みができた。また、高松商工会議所及び香川県中小企業団体中央会との連携により、県内企業等によるプレゼンを実施するなど、将来的な県内定着に繋げるための取組みも実施できた。
- 今後の課題：より多くの保護者に参加してもらえよう事業内容や周知方法を検討する必要がある。
- 交付決定額：530,000円



当取組みの問い合わせ先：高松大学 入学センター
香川県高松市春日町960番地
(TEL) 087-841-3255 (URL) <https://www.takamatsu-u.ac.jp/>

大学・地域共創プラットフォーム香川

参画：徳島文理大学（香川キャンパス）、高松大学、香川短期大学、高松商工会議所（株）エースシステム、（株）オーキッド）、（株）レディ薬局、JA香川県、香川県、高松市、さぬき市、宇多津町

香川わくわく子ども大学

- 事業概要：(目的) 小学生やその保護者に、県内大学等や県内産業に関心を持ってもらい、将来的に香川県に関わるきっかけづくりを図る。
- (日時) 令和6年7月20日（土）～9月28日（土）延べ7日間 14講座
- (場所) 徳島文理大学、高松大学、香川短期大学
- (内容) 小学生を対象に、大学等の教員が講師を務める各大学の特色を生かした講座を県内企業・自治体と連携して開講
参加者数：小学生241名（親子225組） 応募数：1,197組
- 成果・評価：大学・短期大学が自治体や県内企業等と連携して講座を開設し、幅広い分野の学習を提供することができ、多くの小学生や保護者に県内大学等や県内産業等について関心を持ってもらうきっかけを作ることができた。また、アンケートの結果、約99%の参加者が満足したと回答しており、本講座に高いニーズがあることが分かった。
- 今後の課題：より多くの希望者に講座を受講してもらえよう、より多くの県内大学等が協力して開講する必要がある。
- 交付決定額：804,000円



当取組みの問い合わせ先：徳島文理大学香川キャンパス 地域連携センター
香川県さぬき市志度1314-1
(TEL) 087-899-7207 (URL) https://www.bunri-u.ac.jp

大学・地域共創プラットフォーム香川

参画：高松商工会議所、香川大学、学校法人穴吹学園、香川県

外国人材活用セミナー&交流会

○事業概要：(目的) 外国人材を活用したい企業に対し、外国人材を雇用する上での手続きなどを学ぶセミナーや外国人材との交流会を実施し、外国人材の雇用を促進する。

(日時) 令和6年11月11日（月）

(場所) 高松商工会議所大ホール

(内容) 外国人材を活用したいと考える県内企業に対する、外国人留学生等の活用や雇用手続きに関するセミナー及び県内企業経営者・担当者と外国人留学生との交流会の開催

参加企業数15社（28名） 参加留学生数15名

○成果・評価： アンケート及びヒアリングの結果から、参加企業全てが「外国人材の雇用を今後も促進していきたい」との回答があった。セミナーや外国人留学生との交流が外国人材の雇用を考える上で、プラスに作用したものと考えている。

○今後の課題： 県内企業の人手不足に寄与するためにも、県内企業と外国人留学生の個別マッチングに繋がる事業を検討していく必要がある。

○交付決定額： 610,000円



当取組みの問い合わせ先：高松商工会議所事業推進部 産業・人材課
香川県高松市番町2-2-2

(TEL) 087-825-3518 (URL) <https://www.takacci.or.jp/>

令和6年度 名義使用の許諾について

令和7年2月21日時点

番号 種別	行事名	主催者	共催者又は 後援者	実施目的	対象者	内容	開催時期等
1 後援	令和6年度ま ちのデータ 研究室	情報通信 交流館、 香川大学	【共催】かがわ情 報化推進協議会 【後援】大学・地 域共創プラット フォーム香川、 高松市、スマー トシティたかま つ推進協議会、 四国情報通信懇 談会	準公共分野を 担う地域のス テークホルダ ー(企業、自治 体、団体等)の DX 推進	高校生以 上の一般 市民	デザイン思考に よるアプリ・ソフ トウェア開発プ ロセスの体験、 実在する準公共 サービスの業務 課題の解決に向 けたシステム開 発／データ分析 の実践等	6/22～ 7/6
2 後援	高校生お弁 当の日甲子 園 2024	香川短期 大学	【後援】香川県、 香川県教育委員 会、宇多津町、 香川県高等学校 教育研究会家庭 科部会、香川県 栄養士会、大 学・地域共創プ ラットフォーム 香川	食に関わる SDGs への意 識を高め、食 品の賢い選択 と食を通じた 健康づくりに 自ら取り組む ことができる ようにする	香川県及 び近県の 高校生	「鶏卵を使った 弁当」をテーマ とした弁当のコ ンクール	《募集期間》 7/8～ 9/11
3 後援	KadaiDX シンポジウム	香川大学	【後援】大学・地 域共創プラット フォーム香川	県内の中小企 業に DX 推進 の機運を醸成 させる	デジタル 技術を用 いた業務 プロセス 変革を目 指す方、ノ ーコード・ ローコー ドツール を用いた 業務シス テム内製 開発に興 味がある 方	DX 推進に関す る講演、パネル ディスカッシ ョン、ポスターセ ッション、ハンズ オン	8/1・8/2

4 後援	リケラボかがわ2024	リケラボ香川事務局(西日本放送サービス(株)内)	【後援】高松市、大学・地域共創プラットフォーム香川	中高生の県内理工系進学意識の醸成及び理工系女子の育成に向けた情報発信力を高める	香川県内の中・高校生及びその保護者	理工系・デジタルに関する講演会、県内理工系高等教育機関の取組み紹介、デジタルソリューションの体験等	8/25
5 後援	カーサ起業塾2024	(一社)香川学生支援会	【後援】大学・地域共創プラットフォーム香川	地域で持続的に発展する企業を起こす若者を育成する	香川県内の大学生・大学院生及び30歳以下の社会人	各分野の専門家による講習・ビジネスプランのビルドアップ及び発表	8/7～ 9/21 ↓ 事業中止
6 共催	2024年度香川大学危機管理シンポジウム	香川大学	【共催】(一社)国立大学協会、(公社)土木学会四国支部香川地区、(公社)土木学会安全問題研究委員会、大学・地域共創プラットフォーム香川 【後援】国土交通省四国地方整備局、香川県、高松市、四国経済連合会、(公社)日本技術士会四国本部、香川県防災士会、かがわ自主ぼう連絡協議会、四国官学連携防災・減災協議会、四国5大学連携防災・減災教育研究協議会、NHK高松放送局、RNC西日本放送、TSCテレビせとうち、KSB瀬戸内海放送、四国新聞社	香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構の活動成果を地域に還元し、地域の安全・安心に寄与する	関係機関、企業、一般市民、香川大学教職員・学生等	学外講師による危機管理研究に関する講演及びパネルディスカッション	12/9

7 後援	中高生のための薬剤師セミナー	徳島文理大学	【後援】香川県、(一社)香川県薬剤師会、香川県病院薬剤師会、未来のSO-YAKUプロジェクト、大学・地域共創プラットフォーム香川	薬学の有用性、薬剤師の役割や魅力を伝えるセミナーを中学生・高校生等を対象に開催することにより、勉学・進学意欲の向上並びに地域の活性化に資する	香川県内の中学生・高校生とその保護者、及び中学校・高等学校教員	薬剤師の業務等に関する講演、パネルディスカッション、薬剤師体験・薬剤師クイズ・大学見学等	10/19
8 後援	「地方で輝くローカルスタートアップ」トークセッション企画～かがわスタートアップフェスタ2024 スピンオフ～	東かがわ市	【共催】香川県、東かがわ市商工会 【後援】大学・地域共創プラットフォーム香川	スタートアップへの理解を深めてもらうとともに、スタートアップと県外大企業の連携を促進し、スタートアップエコシステムを広げ、スタートアップを応援する環境づくりの一助とする	大学生・専門学生・企業社員・団体・行政職員・県内・市内関心層	東かがわ市地域活性化企業人協定締結企業3社の役員等と市長によるトークセッション、県内企業家やスタートアップ支援者によるトークセッション	11/19
9 後援	KadaiDX 塾	香川大学	【共催】大学・地域共創プラットフォーム香川	地域のDXを目指してDX推進の実践ができる人材を育成すること	地域の中小企業D推進者等	香川大学のDX推進の取組事例紹介、ハンズオン等	1/27